2008 年 9 月 19 日（第 2 版）
富士通株式会社

WEB 限定版

2003 年春モデル FMV-BIBLO NB16C、NB16C/A、NB18C、NB18C/A、NB18CN のリカバリ手順

リカバリとは、パソコンをご購入時の状態に戻す作業のことです。

パソコンで発生した問題を解消できない場合や、コンピュータウイルスに感染しウイルス駆除ソフトウェアを導入しても駆除できない場合などは、リカバリを行って購入時の状態に戻し、正常に使用できるようにします。

リカバリの流れ

第1章
リカバリディスクとアプリケーションディスクの実行
約 2 時間 20 分

第2章
Microsoft Office やサービスアシスタントなどのインストール
約 1 時間

第3章
セキュリティの設定と Windows Update の適用
約 2 時間

目次

カスタムメイドモデルをお使いの場合は、構成により手順が異なる場合があります。

第1章　リカバリディスクとアプリケーションディスクの実行

1　リカバリの事前準備をする　3
- データをバックアップする
- 周辺機器を取り外す
- リカバリに使用するディスクを確認する

2　リカバリディスクを実行する　4
3　Windows をセットアップする　6
4　FM かんたんインストールの「標準」ボタンでアプリケーションをインストールする　8
5　「必ず実行してください」を実行する　10
6　Drag'n Drop CD の常駐を解除する　12
7　FM かんたんインストールでその他のアプリケーションをインストールする　13
- 蔵衛門デジブックのインストール
- OASYS ビューアのインストール
- Vision Connect のインストール
- 柿木将棋 III Light のインストール

8　購入時と同じ状態や設定にする　17

第2章　Microsoft Office やサービスアシスタントなどのインストール

1　富士通サービスアシスタントをインストールする　18
2　Office XP Personal をインストールする　19
3　Microsoft Outlook Plus! をインストールする　24
4　Microsoft Bookshelf Basic をインストールする　25
5　パソコンをご購入時と同じ状態にする　26
- Microsoft Bookshelf Basic の常駐を解除する
- Microsoft Outlook アイコンを削除する
- Microsoft Outlook Plus! アイコンを削除する
- [スタート] メニューを設定する
- Internet Explorer を設定する

6　プロアトラス W for FUJITSU をインストールする　30
7　ディスプレイドライバをアップデートする　32
8　SD カード/メモリースティックスロットドライバをアップデートする　33

第3章　セキュリティの設定と Windows Update の適用

1　Windows 標準のファイアウォール機能を有効にする　34
2　Windows Update を実行する　35

第1章
リカバリディスクとアプリケーションディスクの実行

1 リカバリの事前準備をする

リカバリを行う前に、いくつかの準備が必要です。
次の項目の内容を順に確認してください。

■ データをバックアップする

リカバリを実行すると、パソコンに保管してあるデータや、インターネットに接続する設定などは消去されます。
このため、パソコンの起動が可能な場合は、リカバリを始める前に、保管したいデータをバックアップ（保存）します。パスワードなど、データのままでコピーを取れない情報は、メモを取るなどの方法で記録します。

■ 周辺機器を取り外す

プリンタ、デジタルカメラ、PC カード、増設メモリなどの周辺機器は、取り外した状態でリカバリを行います。
また、LAN ケーブルや、モデムに接続されている電話線など、ケーブル類もすべて取り外します。
周辺機器などが接続されたままの状態でリカバリを行うと、リカバリが正常に行われない可能性があります。

■ リカバリに使用するディスクを確認する

リカバリを行うには、パソコンに付属されている次のディスクが必要です。
リカバリを行う前に、次のディスクが揃っているかどうかを確認します。

- リカバリディスク 1～3 ： 3 枚
- アプリケーションディスク 1～2 ： 2 枚
- 富士通サービスアシスタント CD ： 1 枚
- Microsoft Office XP Personal ： 1 枚
- Office XP ツール CD ： 1 枚
- プロアトラス W for FUJITSU （DVD 版） ： 1 枚

2 リカバリディスクを実行する

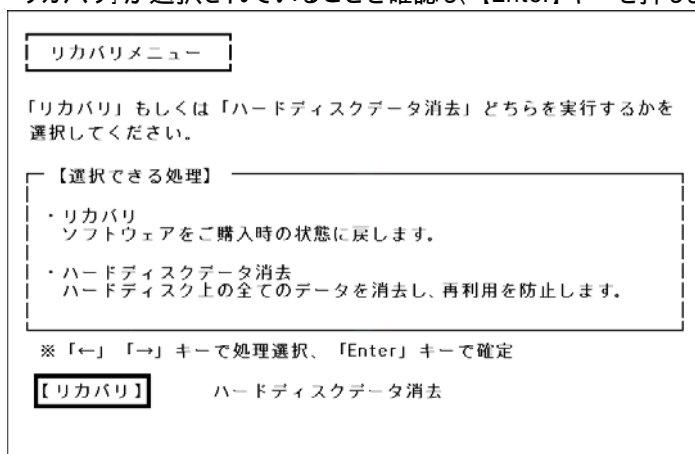
「リカバリディスク 1」～「リカバリディスク 3」と「アプリケーションディスク 1」を用意します。
次の手順で、リカバリディスクを実行します。

1. キーボードの【F12】キーの位置をあらかじめ確認します。
2. パソコンの電源が入っている場合は、電源を切ります。
3. パソコンの電源を入れます。
4. 電源を入れた直後のFUJITSUのロゴ画面で、画面の下にメッセージが表示されたら、【F12】キーをトントントンと何回か押します。

（画面は実際の色を反転させています）

≪アドバイス≫

- 画面が切り替わるまで何度かキーを押してください。
- メッセージが表示される間隔が短いため、Windows が起動してしまうことがあります。
  その場合は、もう一度電源を切った状態で、手順 1.からやり直してください。

5. 「起動メニュー」が表示されます。
   「リカバリディスク 1」をセットします。
6. 【↓】キーを押して、「CD-ROM」、「CDROM」、「ATAPI CD-ROM ドライブ」、「CD-ROM ドライブ」のいずれかを選択し、【Enter】キーを押します。
7. 「リカバリディスク 1」が起動し、しばらく待つと、「リカバリメニュー」が表示されます。
   「リカバリ」が選択されていることを確認し、【Enter】キーを押します。

≪アドバイス≫

「リカバリ」が選択されていない場合は、【←】キーを押して「リカバリ」を選択してから、【Enter】キーを押します。

8. 「処理を続行される前に、必ず以下をよくお読みください。」と表示されます。
「ソフトウェアの使用条件」をよく読み、同意する場合は、【Y】キーを押します。

```
ＦＭＶ リカバリディスク                Version 3.00

処理を続行される前に、必ず以下をよくお読みください。
[PageDown]キーを使ってページを移動できます。

１．概要

「リカバリディスク」は、ハードディスクの内容を初期化し、ソフトウェアをご購
入時の状態に復元します。マニュアルをよくお読みになってご使用ください。

２．ソフトウェアのご使用条件について

「リカバリディスク」には、本パソコンのご購入時にインストールされていたソフ
トウェアが入っています。これらのソフトウェアをご使用いただくにあたっては、
                                                                  (1/3)
ソフトウェアの使用条件にご同意いただけますか？
ご同意いただけましたら、[Y]キーを押してください。

同意する場合には[Y]キーを、同意しない場合には[N]キーを押してください。
次頁:[PageDown]  同意する:[Y]  同意しない:[N]
```

9. 「ご購入時の状態に戻す（推奨）」が反転表示されていることを確認し、【Enter】キーを押します。

```
ＦＭＶ リカバリディスク                Version 3.00

ご購入時の状態に戻す（推奨）

領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す

終了する

Ｃドライブをフォーマットしてから、
ご購入時の状態に戻します。通常はこちらを選択してください。
Ｃドライブのデータはすべて失われるため、必要なデータはバックアップしてください。
Ｄドライブのデータはそのまま残ります。

[↓]/[↑]キーを押して項目を選びます。実行する場合は[Enter]キーを押します。
次項目:[↓]  前項目:[↑]  実行:[Enter]
```

10. 「C ドライブのデータはすべて失われてしまいます。」と表示されます。
リカバリを実行するには、【Y】キーを押します。
11. FUJITSU のロゴと「復元しています…」が表示され、「リカバリディスク 1」のコピーが開始されます。
完了するまで、そのまましばらく待ちます。
12. 「2 枚目のメディアをドライブ Y:に入れてください.準備はいいですか？(Y/N)」と表示されます。
「リカバリディスク 1」を取り出し、「リカバリディスク 2」をセットしてから、【Y】キーを押します。
13. 「リカバリディスク 2」のコピーが開始されます。
完了するまで、そのまましばらく待ちます。
14. 「3 枚目のメディアをドライブ Y:に入れてください.準備はいいですか？(Y/N)」と表示されます。
「リカバリディスク 2」を取り出し、「リカバリディスク 3」をセットしてから、【Y】キーを押します。
15. 「リカバリディスク 3」のコピーが開始されます。
完了するまで、そのまましばらく待ちます。
16. 「復元作業が正常に終了しました。」と表示されます。
「リカバリディスク 3」を取り出し、「アプリケーションディスク 1」をセットしてから、【Y】キーを押します。
パソコンが再起動します。

以上で、「リカバリディスクを実行する」は完了です。
続いて、「Windows をセットアップする」へ進みます。

3 Windows をセットアップする

次の手順で、Windows をセットアップします。

1. 「Microsoft Windows へようこそ」と表示されます。
画面右下の「→」ボタンをクリックします。

2. 「使用許諾契約」が表示されます。
「使用許諾契約」をよく読み、同意する場合は、画面左下の「同意します」をクリックし、画面右下の「→」ボタンをクリックします。
3. 「コンピュータに名前を付けてください」と表示されます。
ここでは何も入力せずに、画面右下の「→」ボタンをクリックします。

≪アドバイス≫
「管理者パスワードを設定してください」と表示された場合は、次の手順を行います。
表示されない場合は、手順 4.に進みます。
1). 「管理者パスワードを設定してください」と表示されます。
ここでは何も入力せずに、画面右下の「→」ボタンをクリックします。
2). 「このコンピュータをドメインに参加させますか？」と表示されます。
「いいえ、このコンピュータをドメインのメンバにしません」をクリックし、画面右下の「→」ボタンをクリックします。

4. 「インターネット接続が選択されませんでした」と表示されます。
画面右下の「→」ボタンをクリックします。

≪アドバイス≫
「インターネットに接続する方法を指定してください」と表示された場合は、画面右下の「▷▷(省略)」ボタンをクリックします。

5. 「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？」と表示されます。
「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックし、画面右下の「→」ボタンをクリックします。

≪アドバイス≫
「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか？」と表示された場合は、「いいえ、今回はインターネットに接続しません」をクリックし、画面右下の「→」ボタンをクリックします。

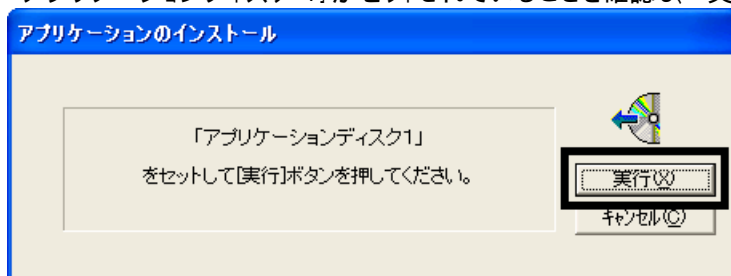
6.　「設定が完了しました」と表示されます。
画面右下の「→」ボタンをクリックします。

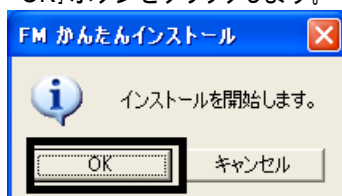
パソコンが再起動します。

以上で、「Windows をセットアップする」は完了です。
続いて、「FM かんたんインストールの「標準」ボタンでアプリケーションをインストールする」へ進みます。

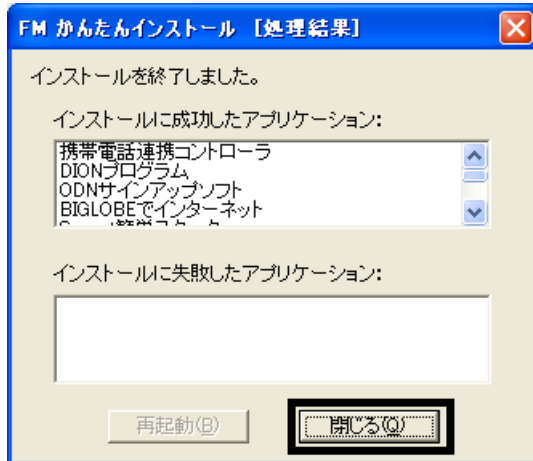
4　FM かんたんインストールの「標準」ボタンでアプリケーションをインストールする

「アプリケーションディスク 1」を用意します。
次の手順で、アプリケーションをインストールします。

1. **「「アプリケーションディスク 1」をセットして[実行]ボタンを押してください。」と表示されます。**
   「アプリケーションディスク 1」がセットされていることを確認し、「実行」ボタンをクリックします。

2. **「FM かんたんインストール」が表示されます。**
   画面右上の「標準」ボタンをクリックし、アプリケーション名の左側に赤い三角形のマークが表示されたことを確認します。

3. **画面の右上にある、「開始」ボタンをクリックします。**
4. **「インストールを開始します。」と表示されます。**
   「OK」ボタンをクリックします。

5. **インストールが開始されます。**
   完了するまで、そのまましばらく待ちます。

≪アドバイス≫
インストール中に、「乗換案内 時刻表対応版 Setup」と表示された場合は、何も操作をせずに待ちます。

6.　「FM かんたんインストール［処理結果]」が表示されます。
「閉じる」ボタンをクリックします。

7.　「終了」ボタンをクリックし、「FM かんたんインストール」を閉じます。

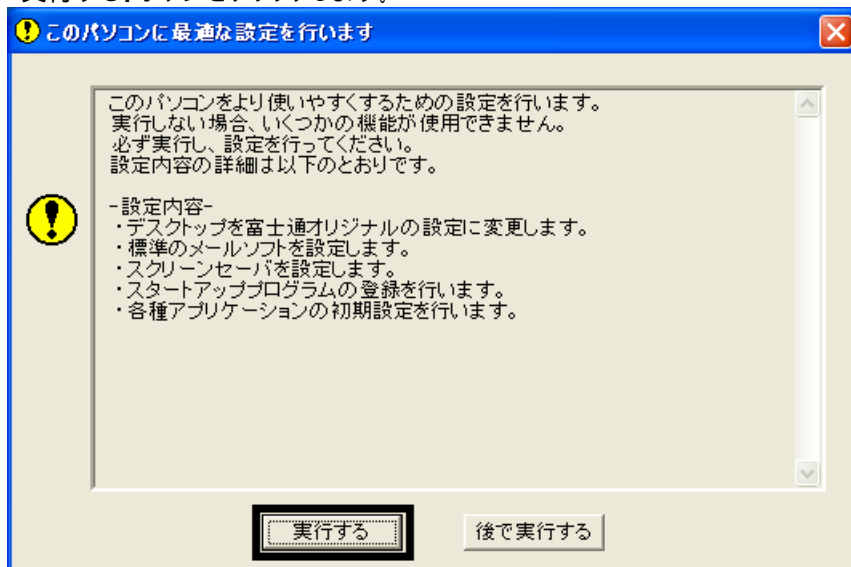
8.　「アプリケーションディスク 1」を取り出します。

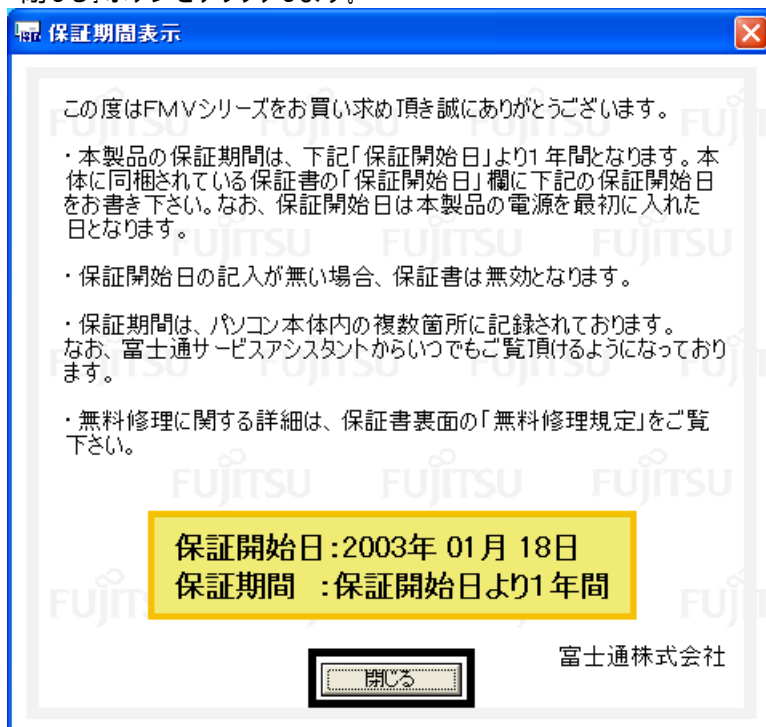
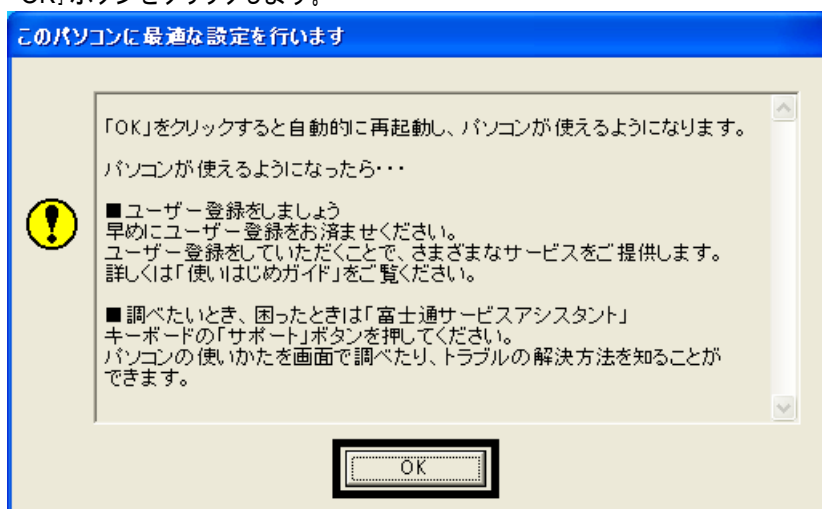
以上で、「FM かんたんインストールの「標準」ボタンでアプリケーションをインストールする」は完了です。
続いて、「「必ず実行してください」を実行する」へ進みます。

5 「必ず実行してください」を実行する

次の手順で、「必ず実行してください」を実行します。

1. **「スタート」ボタン→「必ず実行してください」の順にクリックします。**

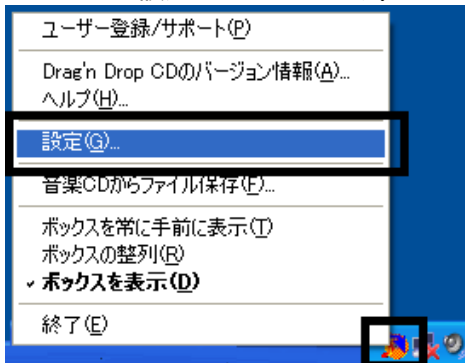
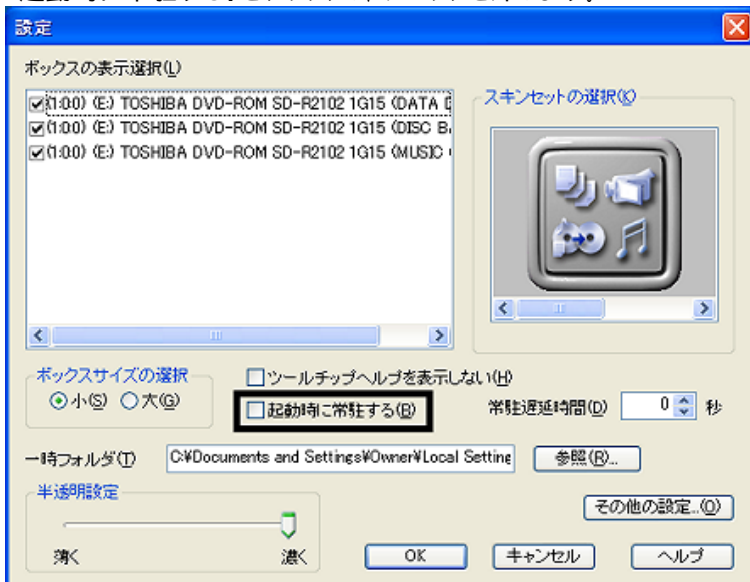
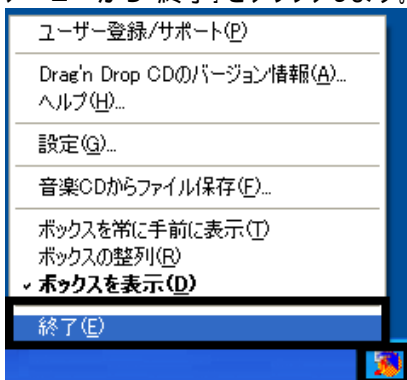
2. **「このパソコンに最適な設定を行います」が表示されます。**
   「実行する」ボタンをクリックします。

≪重要≫
設定中はハードウェアを診断する画面やディスプレイを診断する画面が表示される場合があります。
診断画面の表示中に「ハードウェア不良」と表示された場合は、画面の指示にしたがい処理を行います。

3. 「保証期間表示」が表示されます。
「閉じる」ボタンをクリックします。

4. 「保証開始日のない保証書は無効となります。」と表示されます。
「いいえ」ボタンをクリックします。
5. 「「OK」をクリックすると自動的に再起動し、パソコンが使えるようになります。」と表示されます。
「OK」ボタンをクリックします。

パソコンが再起動します。

以上で、「「必ず実行してください」を実行する」は完了です。
続いて、「Drag'n Drop CD の常駐を解除する」へ進みます。

6 Drag'n Drop CD の常駐を解除する

次の手順で、Drag'n Drop CD の常駐を解除します。

1. 画面右下の通知領域に表示されている、オレンジ色の「Drag'n Drop CD」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから「設定」をクリックします。

2. 「設定」が表示されます。
「起動時に常駐する」をクリックし、チェックを外します。

3. 「OK」ボタンをクリックします。
4. 画面右下の通知領域に表示されている、オレンジ色の「Drag'n Drop CD」のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「終了」をクリックします。

以上で、「Drag'n Drop CD の常駐を解除する」は完了です。
続いて、「FM かんたんインストールでその他のアプリケーションをインストールする」へ進みます。

7 FM かんたんインストールでその他のアプリケーションをインストールする

「アプリケーションディスク 1」を用意します。
次の順に、アプリケーションをインストールします。

- 蔵衛門デジブック
- OASYS ビューア
- Vision Connect
- 柿木将棋 III Light

■ 蔵衛門デジブックのインストール

次の手順で、蔵衛門デジブックをインストールします。

1. 「アプリケーションディスク 1」をセットします。

   ≪アドバイス≫
   「Windowsが実行する動作を選んでください。」と表示された場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。

2. 「マイコンピュータ」→「FUJITSU (E:)」の順にクリックします。
3. 青いパソコンに赤い文字で FMV と描かれた、「EzInst」(または「EzInst.exe」)をクリックします。

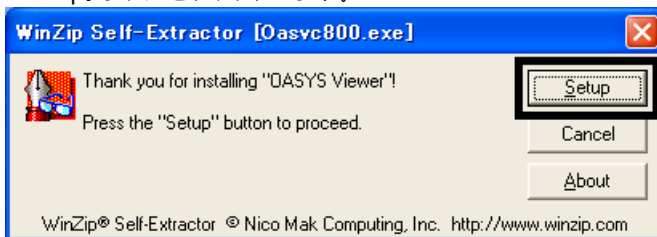
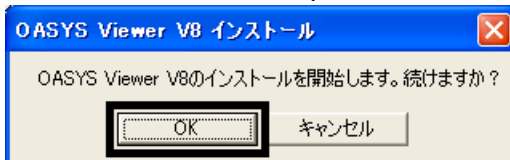
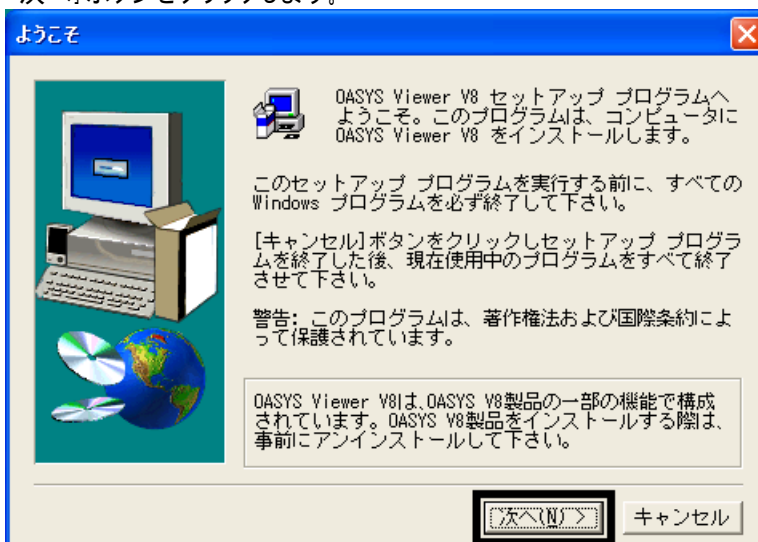
4. 「FM かんたんインストール」が表示されます。
   「アプリケーション名」欄から、「蔵衛門デジブック」をクリックし、左側に赤い三角形のマークが表示されたことを確認します。

5. 画面の右上にある「開始」ボタンをクリックします。
6. 「インストールを開始します。」と表示されます。
   「OK」ボタンをクリックします。
7. 「手動でインストールします。」と表示されます。
   「OK」ボタンをクリックします。
8. インストールが開始されます。
   完了するまで、そのまましばらく待ちます。
9. 「蔵衛門デジブック」が表示されます。
   「×」ボタンをクリックし、「蔵衛門デジブック」を閉じます。
10. 「×」ボタンをクリックし、すべての画面を閉じます。

■ OASYS ビューアのインストール

次の手順で、OASYS ビューアをインストールします。

1. 「マイコンピュータ」→「FUJITSU （E：）」の順にクリックします。
2. 青いパソコンに赤い文字で FMV と描かれた、「EzInst」（または「EzInst.exe」）をクリックします。

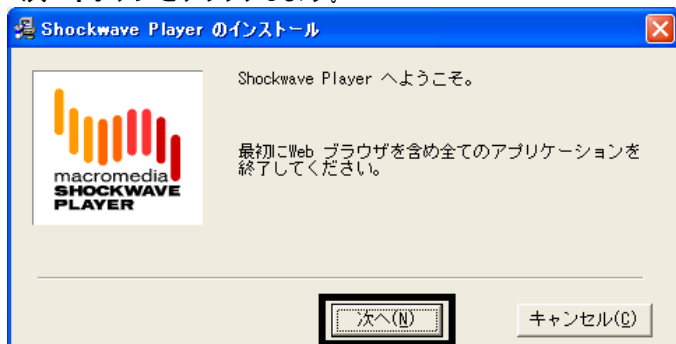
3. 「FM かんたんインストール」が表示されます。
   「アプリケーション名」欄から、「OASYS ビューア」をクリックし、左側に赤い三角形のマークが表示されたことを確認します。
4. 「開始」ボタンをクリックします。
5. 「インストールを開始します。」と表示されます。
   「OK」ボタンをクリックします。
6. 「手動でインストールします。」と表示されます。
   「OK」ボタンをクリックします。
7. 「WinZip Self-Extractor [Oasvc800.exe]」が表示されます。
   「Setup」ボタンをクリックします。

8. 「OASYS Viewer V8 インストール」が表示されます。
   「OK」ボタンをクリックします。

9. 「ようこそ」が表示されます。
   「次へ」ボタンをクリックします。

10. 「使用許諾契約」が表示されます。
    「使用許諾条件」をよく読み、同意する場合は、「はい」ボタンをクリックします。

11. 「インストール先の選択」が表示されます。
「次へ」ボタンをクリックします。
12. 「プログラム フォルダの選択」が表示されます。
「次へ」ボタンをクリックします。
13. 「ファイル コピーの開始」が表示されます。
「次へ」ボタンをクリックします。
14. インストールが開始されます。
完了するまで、そのまましばらく待ちます。
15. 「セットアップの完了」が表示されます。
「完了」ボタンをクリックします。
16. 「WinZip Self-Extractor [Oasvc800.exe]」に戻ります。
「WinZip Self-Extractor [Oasvc800.exe]」が閉じるまで、しばらく待ちます。
17. 「×」ボタンをクリックし、すべての画面を閉じます。

■ Vision Connect のインストール

次の手順で、Vision Connect をインストールします。

1. 「マイコンピュータ」→「FUJITSU (E:)」の順にクリックします。
2. 青いパソコンに赤い文字で FMV と描かれた、「EzInst」(または「EzInst.exe」)をクリックします。

3. 「FM かんたんインストール」が表示されます。
「アプリケーション名」欄から、「Vision Connect」をクリックし、左側に赤い三角形のマークが表示されたことを確認します。
4. 画面の右上にある「開始」ボタンをクリックします。
5. 「インストールを開始します。」と表示されます。
「OK」ボタンをクリックします。
6. 「アプリケーションのインストール方法を選んでください。」と表示されます。
「自動」ボタンをクリックします。
7. Vision Connect のインストールが開始されます。
完了するまで、そのまましばらく待ちます。
8. 「Shockwave Player へようこそ。」と表示されます。
「次へ」ボタンをクリックします。

9. Shockwave Player のインストールが開始されます。
完了するまで、そのまましばらく待ちます。
10. 「おめでとうございます。」と表示されます。
「終了」ボタンをクリックします。
11. 「FM かんたんインストール [処理結果]」が表示されます。
「閉じる」ボタンをクリックします。
12. 「終了」ボタンをクリックし、「FM かんたんインストール」を閉じます。
13. 「×」ボタンをクリックし、すべての画面を閉じます。

■ 柿木将棋 III Light のインストール

次の手順で、柿木将棋 III Light をインストールします。

1. 「マイコンピュータ」→「FUJITSU (E:)」の順にクリックします。
2. 青いパソコンに赤い文字で FMV と描かれた、「EzInst」(または「EzInst.exe」)をクリックします。

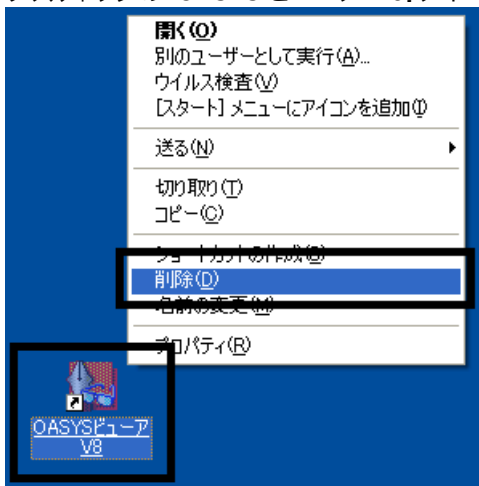
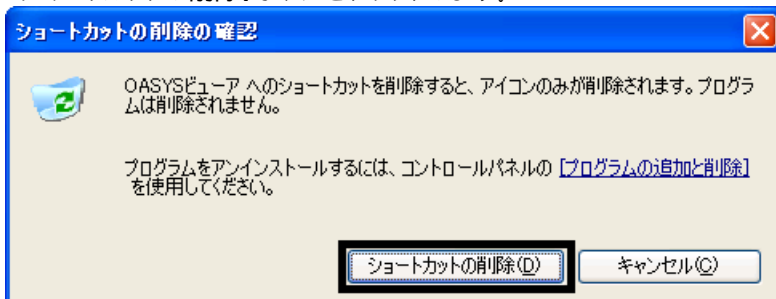
3. 「FM かんたんインストール」が表示されます。
   「アプリケーション名」欄から、「柿木将棋 III Light」をクリックし、左側に赤い三角形のマークが表示されたことを確認します。
4. 画面の右上にある「開始」ボタンをクリックします。
5. 「インストールを開始します。」と表示されます。
   「OK」ボタンをクリックします。
6. 「アプリケーションのインストール方法を選んでください。」と表示されます。
   「自動」ボタンをクリックします。
7. インストールが開始されます。
   完了するまで、そのまましばらく待ちます。
8. 「柿木将棋 III Light」が表示されます。
   「×」ボタンをクリックし、「柿木将棋 III Light」を閉じます。
9. 「FM かんたんインストール [処理結果]」が表示されます。
   「閉じる」ボタンをクリックします。
10. 「終了」ボタンをクリックし、「FM かんたんインストール」を閉じます。
11. 「×」ボタンをクリックし、すべての画面を閉じます。
12. 「アプリケーションディスク 1」を取り出します。

以上で、「FM かんたんインストールでその他のアプリケーションをインストールする」は完了です。
続いて、「購入時と同じ状態や設定にする」へ進みます。

8 購入時と同じ状態や設定にする

アプリケーションをインストールするとデスクトップ画面に、簡単にアプリケーションの起動ができるように OASYS ビューアのショートカットアイコンが作成されます。
次の手順で、OASYS ビューアのショートカットアイコンを削除します。

≪アドバイス≫
ショートカットアイコンの削除を行っても、アプリケーション自体が削除されることはありません。

1. デスクトップの「OASYS ビューア V8」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから、「削除」をクリックします。

2. 「ショートカットの削除の確認」が表示されます。
「ショートカットの削除」ボタンをクリックします。

3. デスクトップ画面に、削除したショートカットアイコンが表示されていないことを確認します。

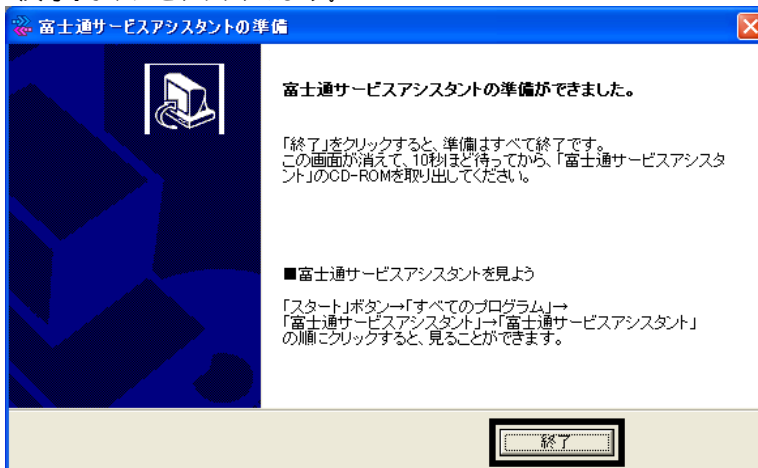
以上で、「購入時と同じ状態や設定にする」は完了です。
引き続き、第 2 章をご覧ください。

第2章
Microsoft Office やサービスアシスタントなどのインストール

1 富士通サービスアシスタントをインストールする

富士通サービスアシスタントは、パソコンの操作方法や、トラブルが発生したときの対処方法を調べるためのオンラインマニュアルです。
次の手順で、富士通サービスアシスタントをインストールします。

1. 「富士通サービスアシスタント CD」をセットします。
2. 自動的に、「富士通サービスアシスタントの準備」が表示されます。
   「開始」ボタンをクリックします。

3. インストールが開始されます。
   完了するまで、そのまましばらく待ちます。
4. 「富士通サービスアシスタントの準備ができました。」と表示されます。
   「終了」ボタンをクリックします。

5. しばらくすると、「富士通サービスアシスタントの準備」が閉じられます。
   しばらく待ってから「富士通サービスアシスタント CD」を取り出します。

以上で、「富士通サービスアシスタントをインストールする」は完了です。
続いて、「Office XP Personal をインストールする」へ進みます。

2 Office XP Personal をインストールする

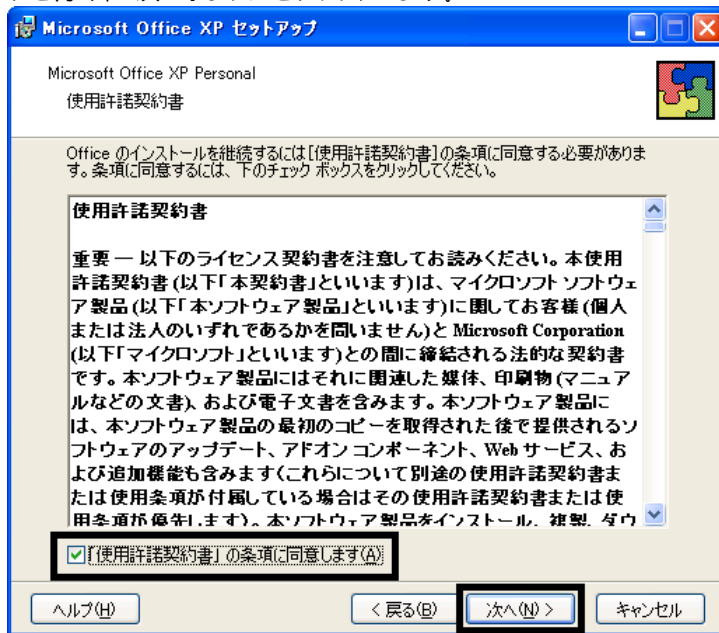
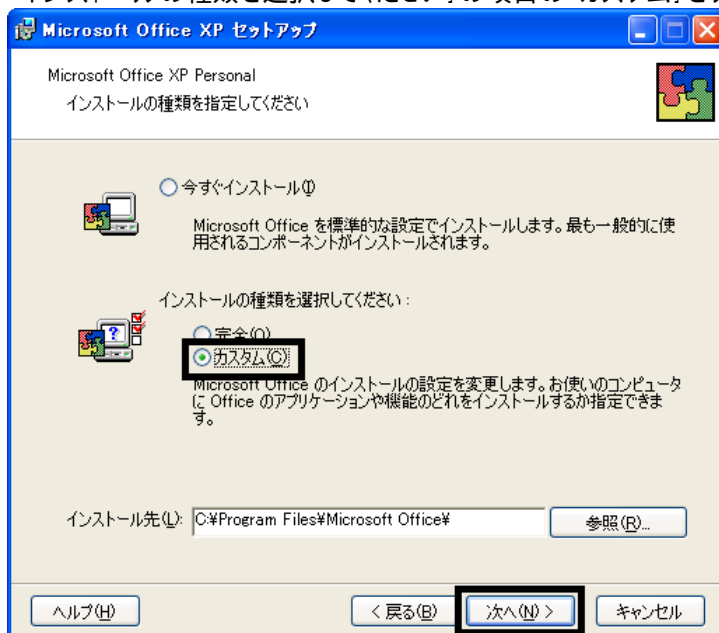
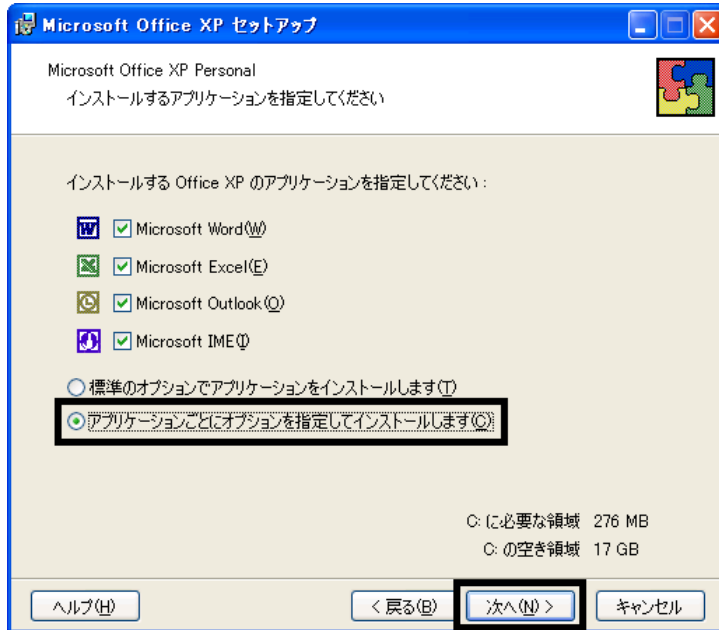
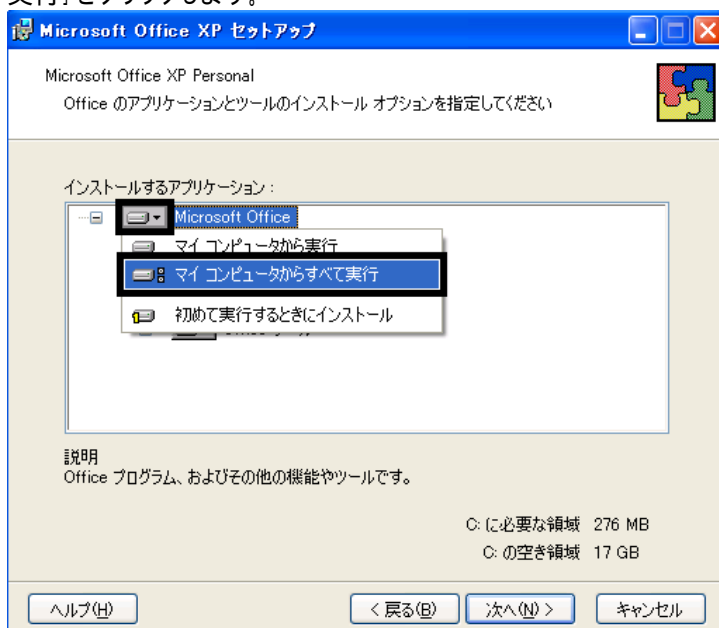
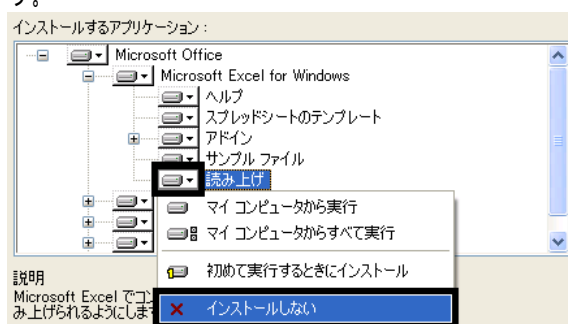
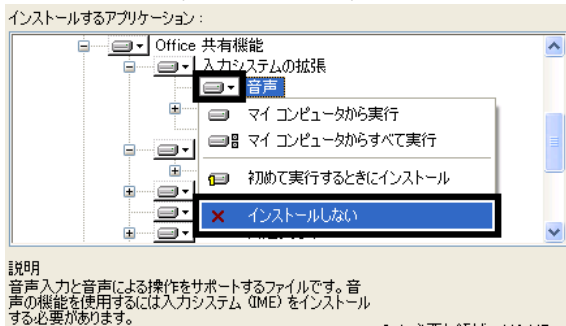
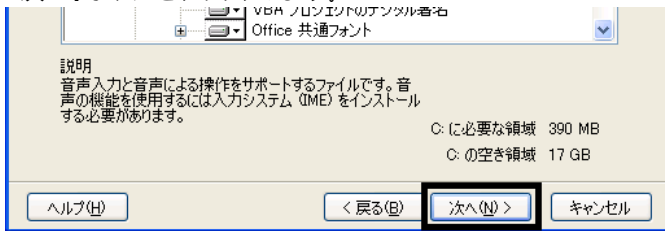
次の手順で、Office XP Personal をインストールします。

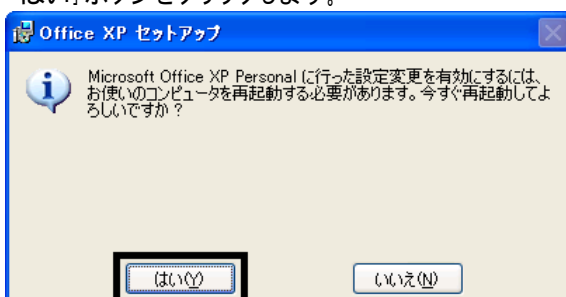
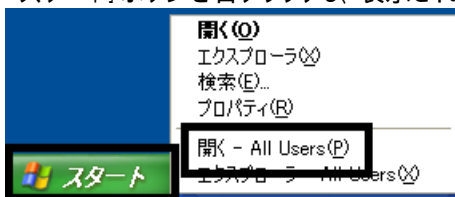
1. 「Microsoft Office XP Personal」と表記されているディスクをセットします。
2. 「Microsoft Office XP セットアップ」が表示されます。
   「ユーザー名」、「頭文字」、「所属」のそれぞれの項目を、必要に応じて入力します。

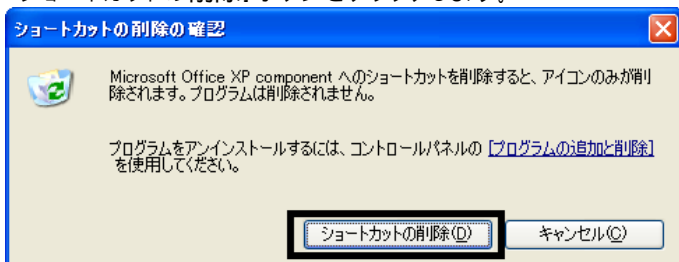
≪アドバイス≫
入力を省略することもできます。

3. 「プロダクトキー」欄に、Microsoft Office XPのプロダクトキーを入力し、「次へ」ボタンをクリックします。

≪アドバイス≫
- プロダクトキーは、「Microsoft Office XP Personal」と表記されているディスクが収納されていたビニールの封筒に同封の、白い紙に貼られた黄色のシールに記載されています。
- プロダクトキーの入力を省略することはできません。

4. 「使用許諾契約書」と表示されます。
「使用許諾契約書」をよく読み、同意する場合は、「「使用許諾契約書」の条項に同意します」をクリックしてチェックを付け、「次へ」ボタンをクリックします。

5. 「インストールの種類を指定してください」と表示されます。
「インストールの種類を選択してください」の項目の「カスタム」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。

6. 「インストールするアプリケーションを指定してください」と表示されます。
「アプリケーションごとにオプションを指定してインストールします」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。

7. 「Office のアプリケーションとツールのインストールオプションを指定してください」と表示されます。
「Microsoft Office」の （灰色の四角形）をクリックし、表示されるメニューから、「マイコンピュータからすべて実行」をクリックします。

8. 「Microsoft Excel for Windows」の「+」をクリックします。
9. 「読み上げ」の （灰色の四角形）をクリックし、表示されるメニューから、「インストールしない」をクリックします。

10. 「Office 共有機能」の「+」をクリックします。
11. 「入力システムの拡張」の「+」をクリックします。
12. 「音声」の (灰色の四角形) をクリックし、表示されるメニューから、「インストールしない」をクリックします。

13. 「次へ」ボタンをクリックします。

14. 「インストールを開始します」と表示されます。
「完了」ボタンをクリックします。

15. インストールが開始されます。
完了するまで、そのまましばらく待ちます。
16. 「Office セットアップ」が表示されます。
「はい」ボタンをクリックします。

17.　パソコンが再起動します。
「Microsoft Office XP Personal」と表記されているディスクを取り出します。
18.　「スタート」ボタンを右クリックし、表示されるメニューから、「開く　- All Users」をクリックします。

19.　「スタート　メニュー」が表示されます。
「プログラム」フォルダ→「スタートアップ」フォルダの順にクリックします。
20.　「Microsoft Office」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから、「削除」をクリックします。

21.　「ショートカットの削除の確認」が表示されます。
「ショートカットの削除」ボタンをクリックします。

22.　「Microsoft Office　ショートカット」アイコンが削除されたことを確認します。
23.　「×」ボタンをクリックし、「スタート　アップ」を閉じます。

以上で、「Office XP Personal　をインストールする」は完了です。
続いて、「Microsoft Outlook Plus!　をインストールする」へ進みます。

3 Microsoft Outlook Plus! をインストールする

次の手順で、Microsoft Outlook Plus! をインストールします。

1. 「Microsoft Office XP ツール CD」をセットします。
2. 「Microsoft Office XP ツール」が表示されます。
   「Outlook Plus! 2.0 のセットアップ」の左に表示されている、赤くPlus!と描かれた、「Plus!」ボタンをクリックします。

≪アドバイス≫
「Microsoft Office XP ツール」が表示されない場合は、「マイコンピュータ」→「BSBASIC3 (E:)」(または「DVDドライブ (E:)」)の順にクリックし、CDと工具が描かれた、「AUTORUN」アイコンをクリックします。

3. 「Microsoft Outlook Plus! Version 2.0 セットアップ」と表示されます。
   「次へ」ボタンをクリックします。
4. 「使用許諾契約書」と表示されます。
   「使用許諾契約書」をよく読み、同意する場合は、「「使用許諾契約書」の条項に同意します」をクリックしチェックを付け、「次へ」ボタンをクリックします。
5. 「インストールの開始」と表示されます。
   「次へ」ボタンをクリックします。
6. インストールが開始されます。
   完了するまで、そのまましばらく待ちます。
7. 「Microsoft Outlook Plus! Version 2.0 は正常にインストールされました」と表示されます。
   「完了」ボタンをクリックします。

≪アドバイス≫
「BSBASIC3 (E:)」(または「DVDドライブ (E:)」)が表示されている場合は、「×」ボタンをクリックして閉じます。

8. 「Microsoft Office XP ツール CD」を取り出します。

以上で、「Microsoft Outlook Plus! をインストールする」は完了です。
続いて、「Microsoft Bookshelf Basic をインストールする」へ進みます。

4 Microsoft Bookshelf Basic をインストールする

次の手順で、Microsoft Bookshelf Basic をインストールします。

1. 「Microsoft Office XP ツール CD」をセットします。
2. 「Microsoft Office XP ツール」が表示されます。
「Bookshelf Basic 3.0 のセットアップ」の左に表示されている、青い本が描かれたボタンをクリックします。

≪アドバイス≫
「Microsoft Office XP ツール」が表示されない場合は、「マイコンピュータ」→「BSBASIC3(E:)」（または「DVDドライブ(E:)」）の順にクリックし、CDと工具が描かれた、「AUTORUN」アイコンをクリックします。

3. 「Microsoft Bookshelf Basic Version 3.0 - ウィザード」が表示されます。
「次へ」ボタンをクリックします。
4. 「セットアップ タイプ」と表示されます。
「セットアップ タイプを選択してください。」の「標準」ボタンをクリックします。

5.　「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されます。
「インストール」ボタンをクリックします。
6.　インストールが開始されます。
完了するまで、そのまましばらく待ちます。
7.　「ウィザードを完了しました」と表示されます。
「完了」ボタンをクリックします。

≪アドバイス≫
「BSBASIC3 (E:)」(または「DVDドライブ (E:)」)が表示されている場合は、「×」ボタンをクリックして閉じます。

8.　「Microsoft Office XP ツール CD」を取り出します。
9.　「スタート」ボタン→「終了オプション」→「再起動」ボタンの順にクリックします。
パソコンが再起動します。

以上で、「Microsoft Bookshelf Basic をインストールする」は完了です。
続いて、「パソコンをご購入時と同じ状態にする」へ進みます。

5 パソコンをご購入時と同じ状態にする

Microsoft Office XP Personal をインストールすると、デスクトップにアイコンが追加されたり、スタートアップの設定が変更されたりします。
次の手順で、デスクトップの設定をご購入時と同じ状態にします。

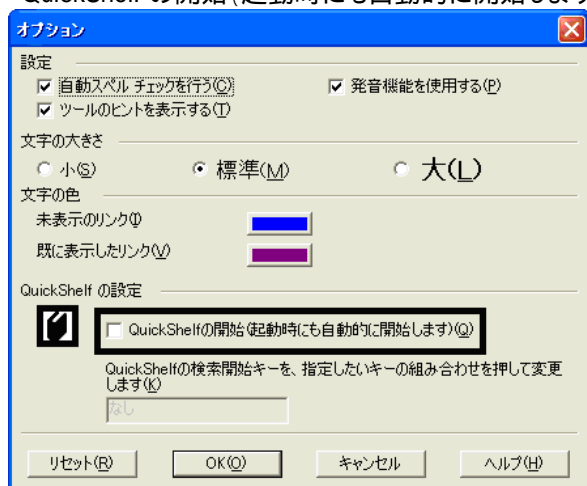
≪アドバイス≫
アイコンの削除を行っても、アプリケーション自体が削除されることはありません。

■ Microsoft Bookshelf Basic の常駐を解除する

次の手順で、Microsoft Bookshelf Basic の常駐を解除します。

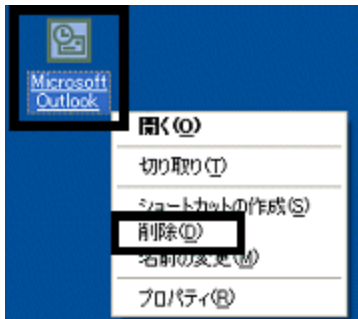
1.　「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Microsoft Reference」→「Microsoft Bookshelf Basic Version3.0」の順にクリックします。

≪アドバイス≫
「オンラインユーザー登録」が表示された場合は、「後で登録」ボタンをクリックします。

2.　「Microsoft Bookshelf Basic Version 3.0」が表示されます。
「ツール」メニュー→「オプション」の順にクリックします。
3.　「オプション」が表示されます。
「QuickShelf の開始(起動時にも自動的に開始します)」をクリックし、チェックを外します。

4. 「OK」ボタンをクリックします。
5. 「×」ボタンをクリックし、「Microsoft Bookshelf Basic Version 3.0」を閉じます。

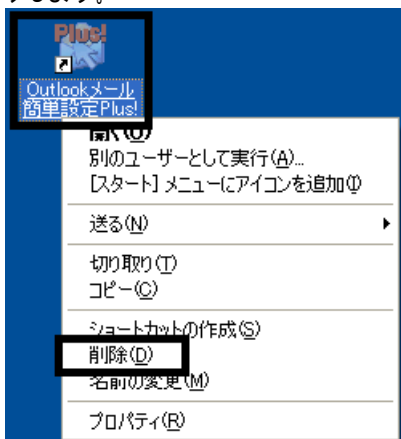
■ Microsoft Outlook アイコンを削除する

次の手順で、Microsoft Outlook アイコンを削除します。

1. デスクトップの「Microsoft Outlook」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから、「削除」をクリックします。

2. 「削除の確認」が表示されます。
   「はい」ボタンをクリックします。
3. デスクトップに、「Microsoft Outlook」アイコンが表示されていないことを確認します。

■ Microsoft Outlook Plus! アイコンを削除する

次の手順で、Microsoft Outlook Plus! アイコンを削除します。

1. デスクトップの「Outlook メール簡単設定 Plus!」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから、「削除」をクリックします。

2. 「ショートカットの削除の確認」が表示されます。
   「ショートカットの削除」ボタンをクリックします。
3. デスクトップに、「Outlook メール簡単設定 Plus!」アイコンが表示されていないことを確認します。

■ [スタート] メニューを設定する

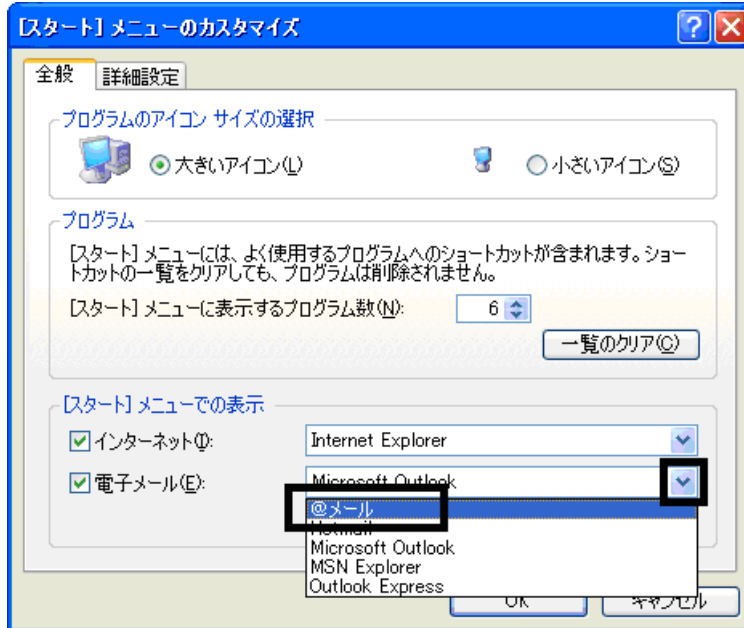
スタートメニューの「電子メール」には、ご購入時の状態で、@メールが表示されています。
Microsoft Office XP Personal をインストールすると、Microsoft Outlook へ変更されることがあります。

（スタートメニューの「電子メール」に、「Microsoft Outlook」と表示されている例）

スタートメニューの「電子メール」に Microsoft Outlook と表示されているときは、@メールへ変更します。
次の手順で、Microsoft Outlook から@メールへ変更します。

1. 「スタート」ボタンを右クリックし、表示されるメニューから、「プロパティ」をクリックします。
2. 「タスクバーと[スタート]メニューのプロパティ」が表示されます。
   「[スタート]メニュー」タブをクリックします。
3. 「[スタート] メニュー」をクリックし、「カスタマイズ」ボタンをクリックします。

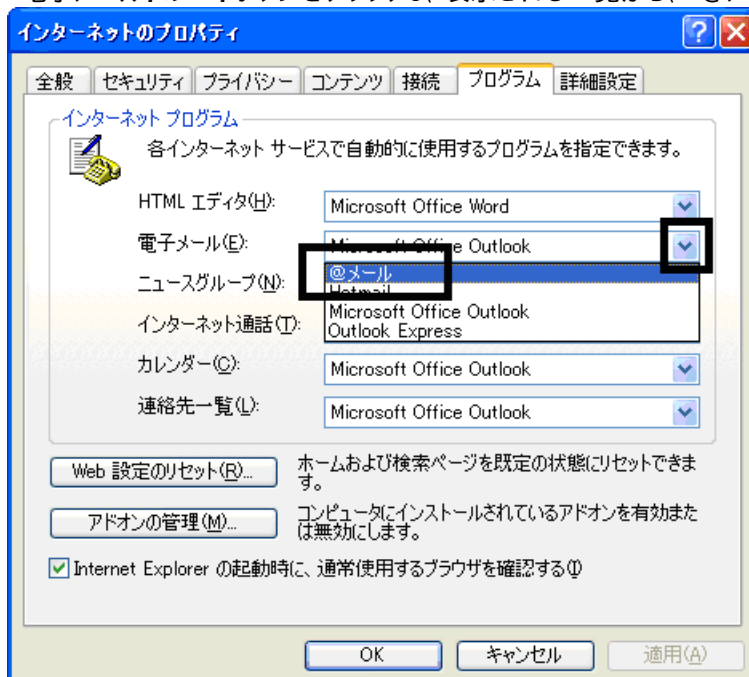
4. 「[スタート] メニューのカスタマイズ」が表示されます。
   「全般」タブをクリックします。

5.　「電子メール」の「V」ボタンをクリックし、表示される一覧から、「@メール」をクリックします。

6.　「OK」ボタンをクリックします。
7.　「タスクバーと[スタート]メニューのプロパティ」に戻ります。
　　「OK」ボタンをクリックします。

■ Internet Explorer を設定する

Internet Explorer から起動する電子メールは、ご購入時の状態で、@メールが設定されています。
リカバリを実行すると、設定が変更されることがあります。

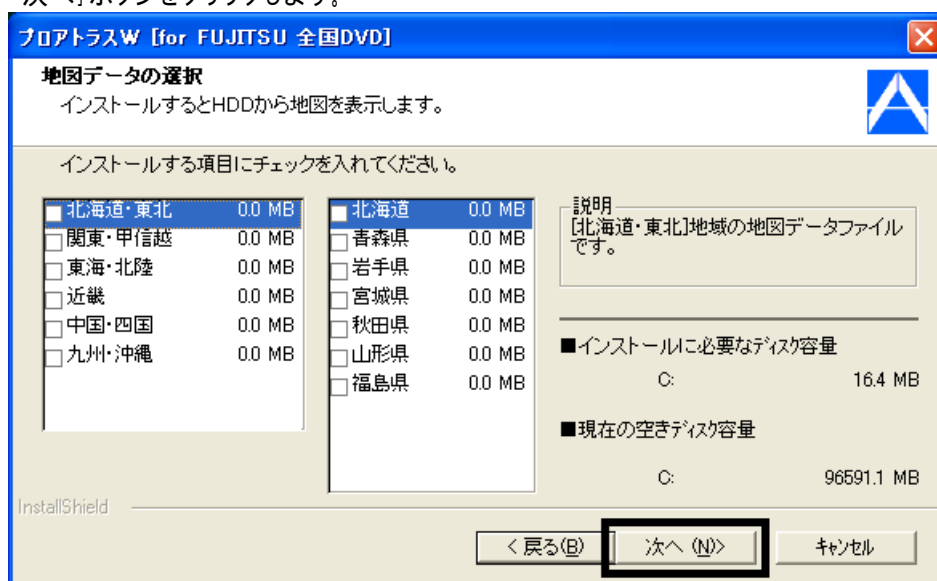
Internet Explorer から起動する電子メールが、Microsoft Outlook へ変更されているときは、@メールへ変更します。
次の手順で、Microsoft Outlook から@メールへ変更します。

1.　「スタート」ボタンをクリックします。
2.　「インターネット」を右クリックし、表示されるメニューから、「インターネットのプロパティ」をクリックします。
3.　「インターネットのプロパティ」が表示されます。
　　「プログラム」タブをクリックします。
4.　「電子メール」の「V」ボタンをクリックし、表示される一覧から、「@メール」をクリックします。

5.　「OK」ボタンをクリックします。

以上で、「パソコンをご購入時と同じ状態にする」は完了です。
続いて、「プロアトラス W for FUJITSU をインストールする」へ進みます。

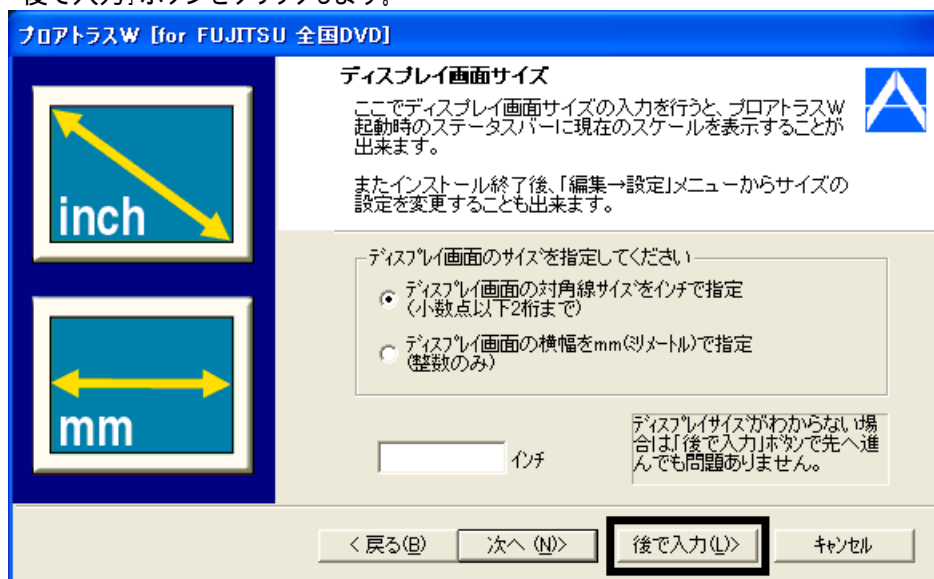
6 プロアトラス W for FUJITSU をインストールする

プロアトラス W for FUJITSU は、地図をパソコンで表示するアプリケーションソフトです。
リカバリを実行した後に、プロアトラス W for FUJITSU を個別にインストールする必要があります。
次の手順で、プロアトラス W for FUJITSU をインストールします。

1.　「プロアトラス W for FUJITSU」と表記されたディスク（または「プロアトラス W for FUJITSU Disk1」）をセットします。
2.　「プロアトラス W [for FUJITSU 全国 DVD] 」（または「プロアトラス W [for FUJITSU 日本広域 CD)]」）が表示されます。
　　「次へ」ボタンをクリックします。
3.　「使用許諾契約」と表示されます。
　　「使用許諾契約」をよく読み、同意する場合は、「同意する」ボタンをクリックします。
4.　「インストール先の選択」と表示されます。
　　「次へ」ボタンをクリックします。
5.　「地図データインストール先の選択」と表示されます。
　　「次へ」ボタンをクリックします。
6.　「地図データの選択」と表示されます。
　　「次へ」ボタンをクリックします。

7.　「検索データインストール先の選択」と表示されます。
　　「次へ」ボタンをクリックします。

≪アドバイス≫
「全国ピンポイント住所検索データの選択」と表示された場合は、「次へ」ボタンをクリックします。

8.　「プログラム フォルダの選択」と表示されます。
　　「次へ」ボタンをクリックします。

9.　「ディスプレイ画面サイズ」と表示されます。
「後で入力」ボタンをクリックします。

10.　「ファイル　コピーの開始」と表示されます。
「次へ」ボタンをクリックします。

11.　インストールが開始されます。
完了するまで、そのまましばらく待ちます。

≪アドバイス≫

- 「クイックアドレス登録の推奨」が表示された場合は、「いいえ」ボタンをクリックします。
- 「ユーザー登録のお願い」が表示された場合は、「いいえ」ボタンをクリックします。

12.　「プロアトラス　セットアップ完了」と表示されます。
「はい、直ちにヘルプファイルを参照します。」をクリックし、チェックを外し、「完了」ボタンをクリックします。

13.　「プロアトラス W for FUJITSU」と表記されたディスク（または「プロアトラス W for FUJITSU Disk1」）を取り出します。

14.　デスクトップの「プロアトラス W」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから、「削除」をクリックします。

15.　「ショートカットの削除の確認」が表示されます。
「ショートカットの削除」ボタンをクリックします。

16.　デスクトップに、「プロアトラス W」アイコンが表示されていないことを確認します。

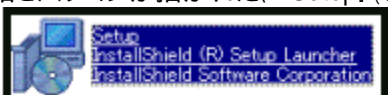
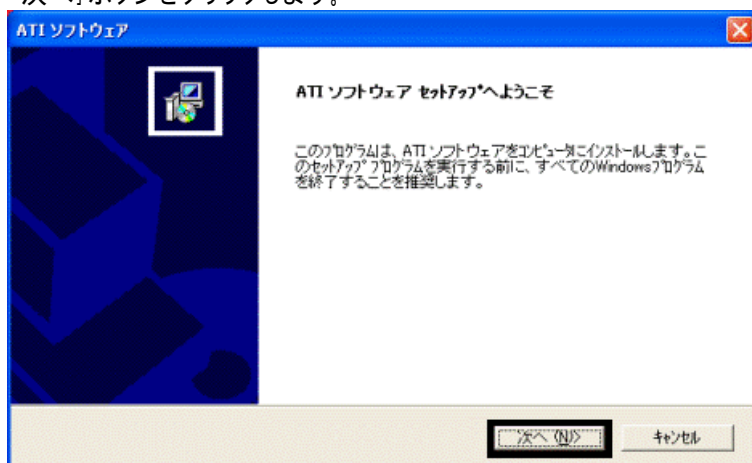
以上で、「プロアトラス W for FUJITSU をインストールする」は完了です。
続いて、「ディスプレイドライバをアップデートする」へ進みます。

7 ディスプレイドライバをアップデートする

次の手順で、ディスプレイドライバをアップデートします。

1. 「アプリケーションディスク 2」をセットします。

≪アドバイス≫
「Windowsが実行する動作を選んでください。」と表示された場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。

2. 「マイコンピュータ」→「FUJITSU (E:)」→「Update」フォルダ→「Display」フォルダ→「ATIU1U2xp」フォルダの順にクリックします。
3. 箱とパソコンが描かれた、「Setup」(または「Setup.exe」)をクリックします。

4. 「ATI ソフトウェア セットアップへようこそ」と表示されます。
「次へ」ボタンをクリックします。

5. 「使用許諾契約」と表示されます。
「使用許諾契約」をよく読み、同意する場合は、「はい」ボタンをクリックします。
6. 「コンポーネントの選択」と表示されます。
「標準」ボタンをクリックします。
7. アップデートが開始されます。
完了するまで、そのまましばらく待ちます。

≪アドバイス≫
「ファイルの上書きの確認」が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックします。

8. 「セットアップの完了」が表示されます。
「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」をクリックし、「完了」ボタンをクリックします。
9. パソコンが再起動します。
「アプリケーションディスク 2」を取り出します。

以上で、「ディスプレイドライバをアップデートする」は完了です。
続いて、「SD カード/メモリースティックスロットドライバをアップデートする」へ進みます。

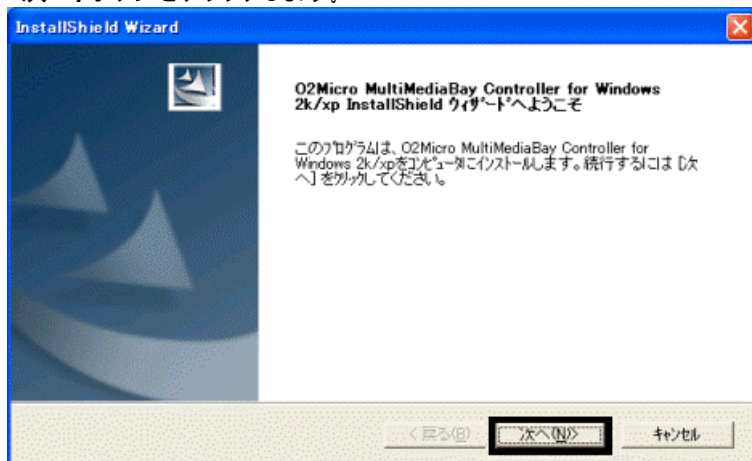
8　SD カード/メモリースティックスロットドライバをアップデートする

次の手順で、SD カード/メモリースティックスロットドライバをアップデートします。

1. 「アプリケーションディスク 2」をセットします。

≪アドバイス≫
「Windowsが実行する動作を選んでください。」と表示された場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。

2. 「マイコンピュータ」→「FUJITSU (E:)」→「Update」フォルダ→「PCMCIA」フォルダ→「O2mmb2kxp」フォルダの順にクリックします。
3. 箱とパソコンが描かれた、「setup」（または「setup.exe」）アイコンをクリックします。

4. 「O2Micro MultiMediaBay Controller for Windows 2k/xp InstallShield ウィザードへようこそ」と表示されます。
「次へ」ボタンをクリックします。

5. アップデートが開始されます。
完了するまで、そのまましばらく待ちます。
6. 「InstallShield ウィザードの完了」と表示されます。
「完了」ボタンをクリックします。
7. 「×」ボタンをクリックし、「O2mmb2kxp」を閉じます。
8. 「スタート」ボタン→「終了オプション」→「再起動」ボタンの順にクリックします。
9. パソコンが再起動します。
「アプリケーションディスク 2」を取り出します。

以上で、「SD カード/メモリースティックスロットドライバをアップデートする」は完了です。
引き続き、第 3 章をご覧ください。

第3章
セキュリティの設定と Windows Update の適用

1 Windows 標準のファイアウォール機能を有効にする

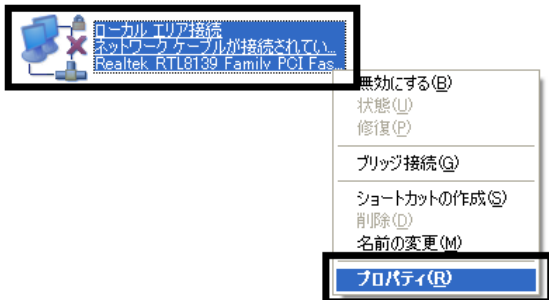
リカバリ直後は、ご購入時の設定になります。
外部からの不正なアクセスを防ぐため、インターネット接続を行う前に、Windows 標準のファイアウォール機能の設定を有効にする必要があります。

≪重要≫
Windows 標準のファイアウォール機能の設定が完了するまでは、LAN ケーブルを取り付けるなど、インターネットへ接続するための設定や操作は行わないでください。

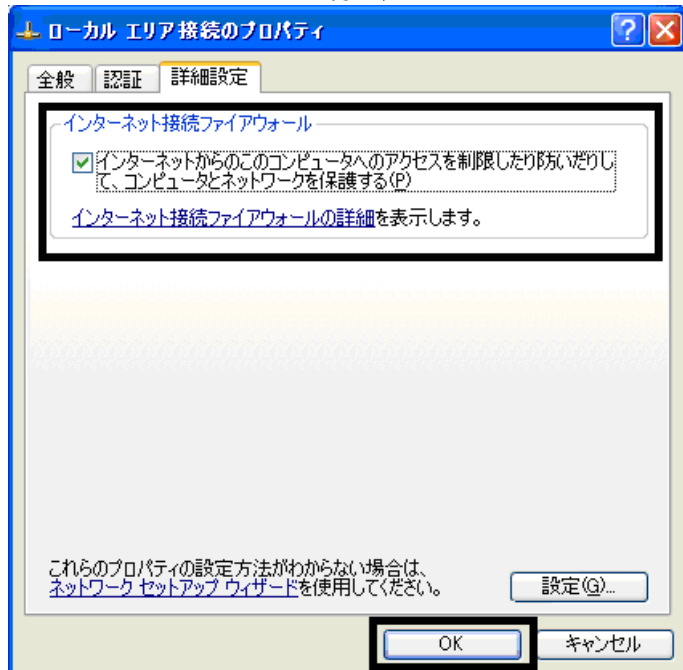
次の手順で、Windows 標準のファイアウォール機能を有効にします。

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「コントロールパネル」が表示されます。
   「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

   ≪アドバイス≫
   「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、「ネットワーク接続」アイコンをクリックし、手順4.へ進みます。

3. 「ネットワークとインターネット接続」が表示されます。
   「ネットワーク接続」をクリックします。
4. 「ネットワーク接続」が表示されます。
   ファイアウォールの設定を行う接続アイコンを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

(「ローカルエリア接続」アイコンの例)

5. 「(接続アイコン名)のプロパティ」が表示されます。
   「詳細設定」タブをクリックします。

6.　「インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する」をクリックしてチェックを付け、「OK」ボタンをクリックします。

7.　「×」ボタンをクリックし、すべての画面を閉じます。

以上で、「Windows 標準のファイアウォール機能を有効にする」は完了です。
続いて、「Windows Update を実行する」へ進みます。

2　Windows Update を実行する

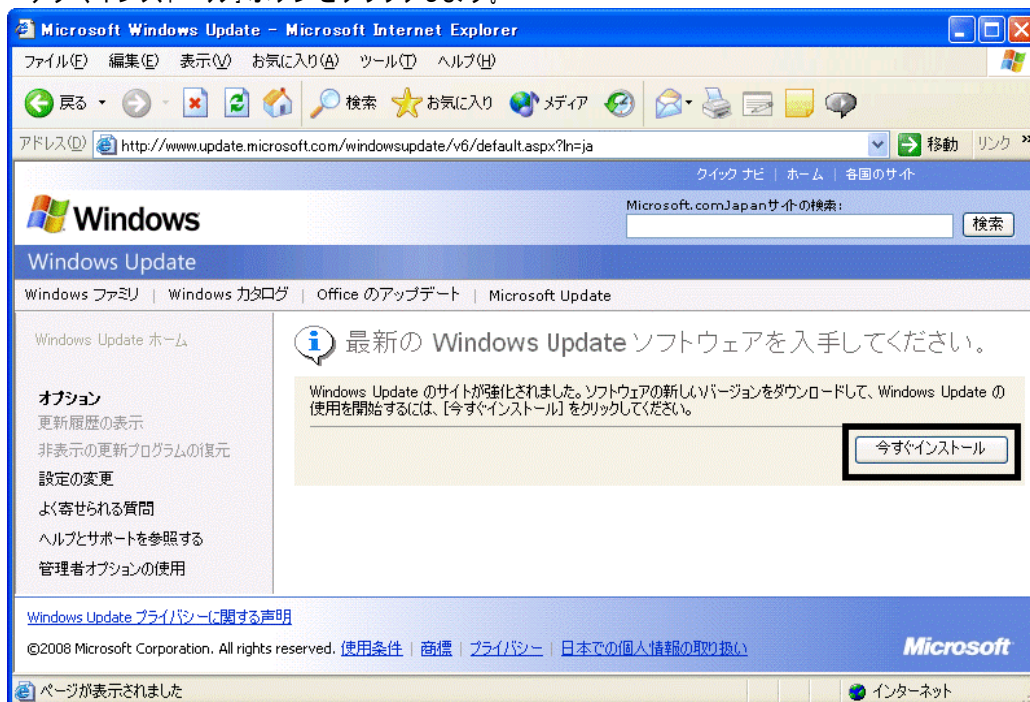
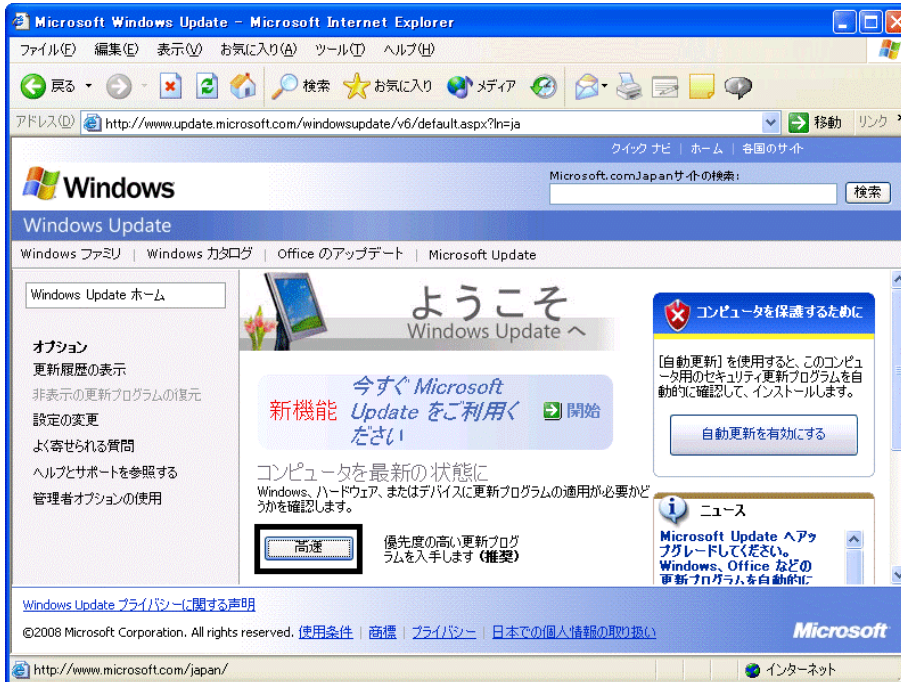
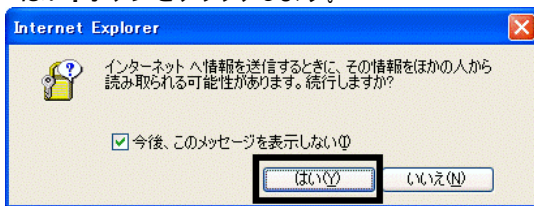
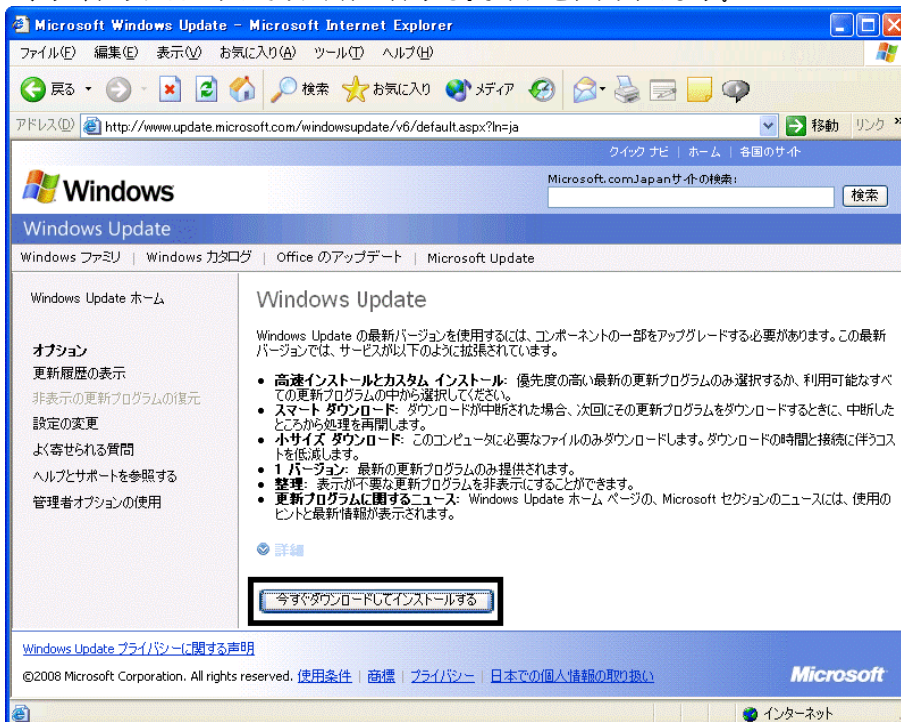
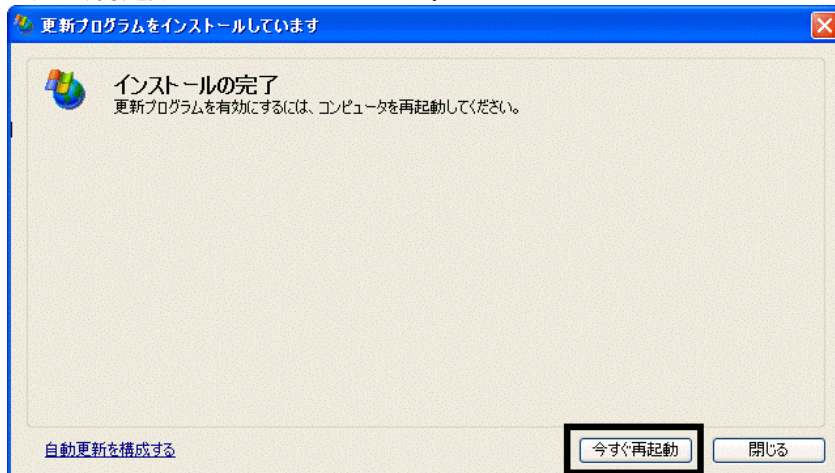
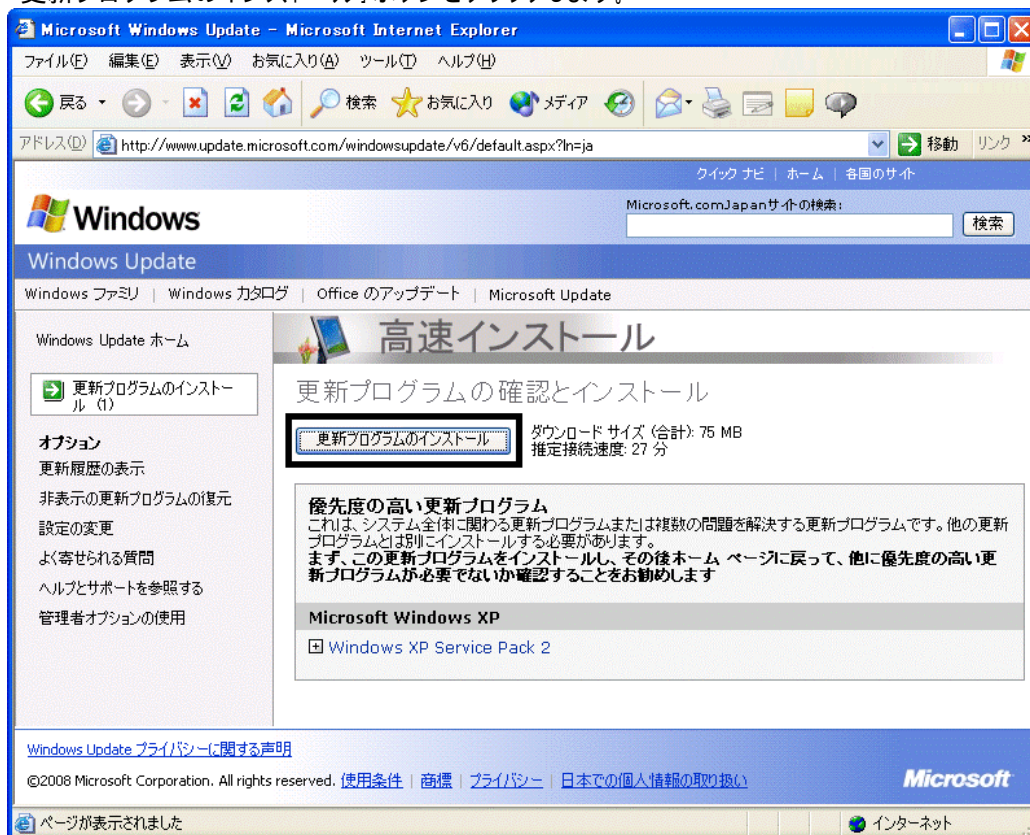
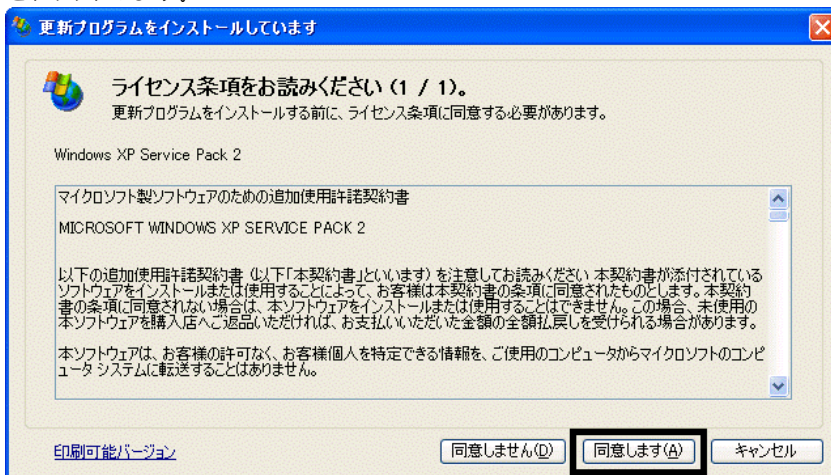
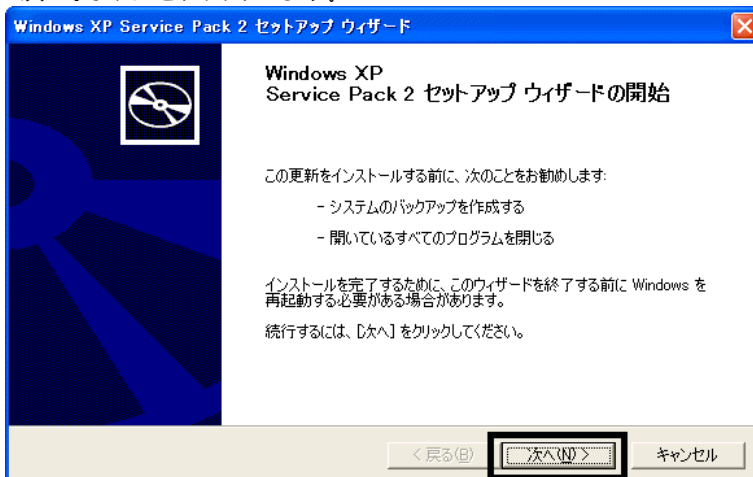
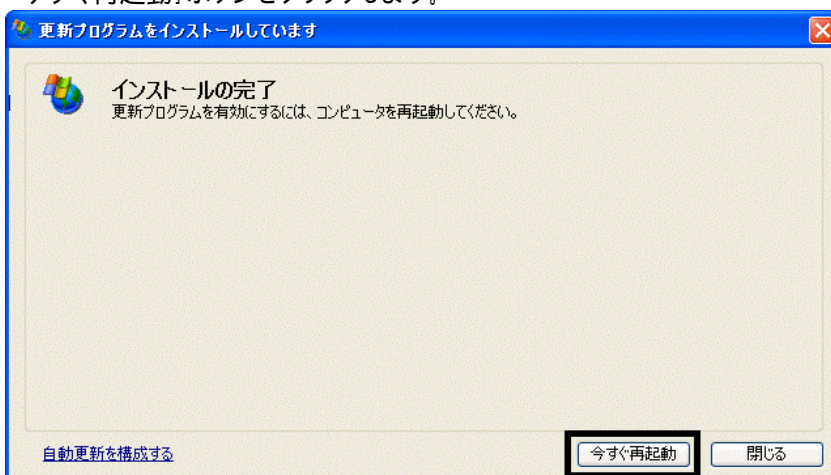
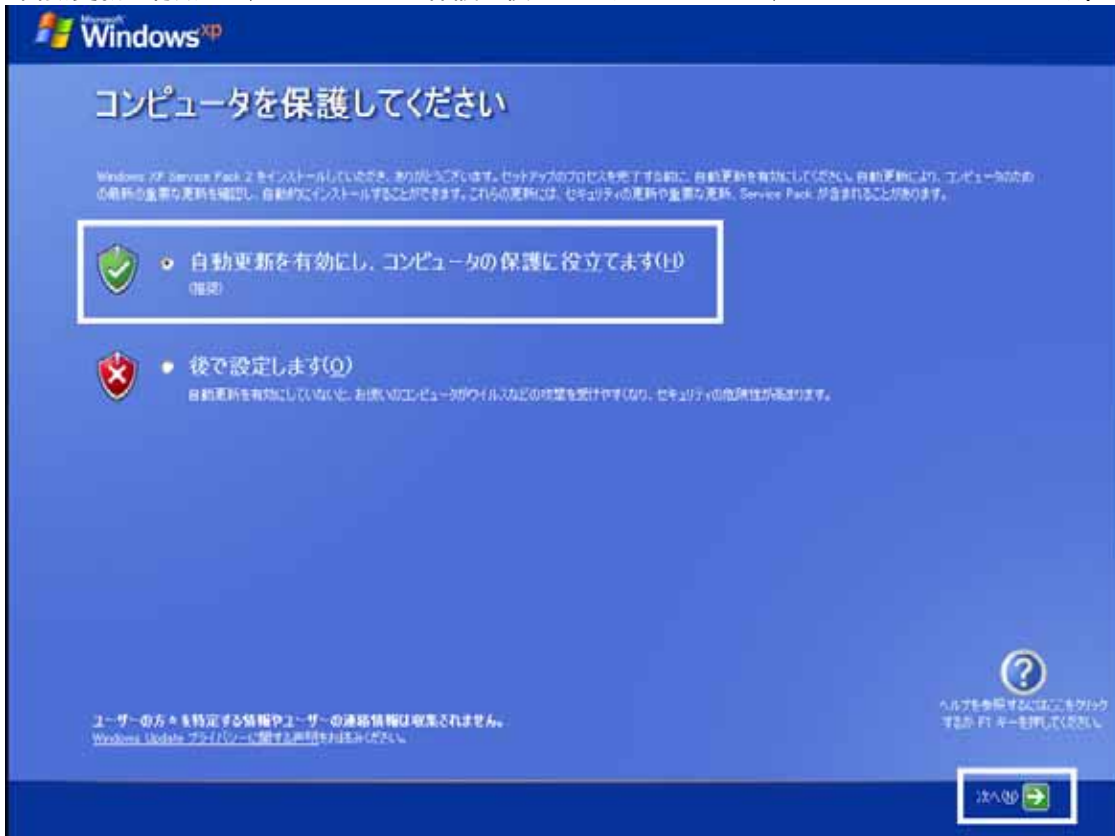
Windows Update を実施することにより、Windows を最新の状態に更新します。
通常は、「高速インストール」での更新をお勧めします。

≪重要≫

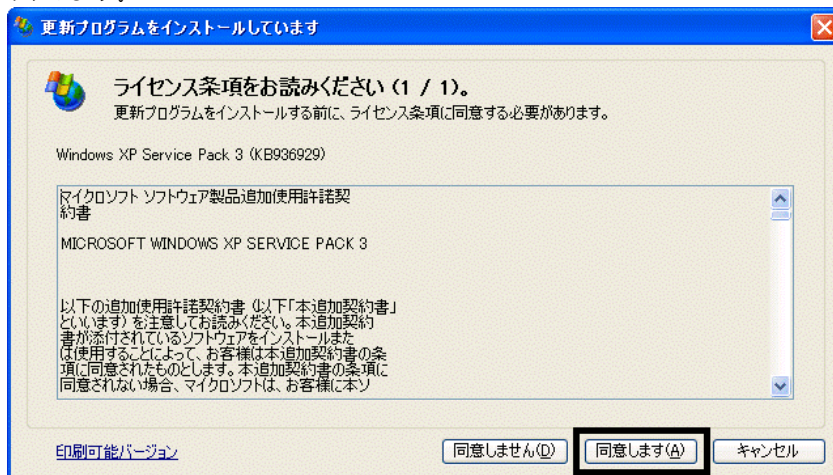
- Windows Update は、インターネットを経由してアップデートを行います。
  インターネットに接続した状態で実施してください。
- Windows Update の画面は一例です。
  お使いの環境や Windows Update のバージョンにより異なる場合があります。
- Windows の省電力機能により、Windows Update 中に画面が真っ暗になることがあります。
  省電力状態から復帰するには、次のように操作をします。
  【DESKPOWER の場合】
  マウスを動かして数秒待つか、マウスのボタンを1回押します。
  【BIBLO の場合】
  フラットポイントに触れるか、【Shift】キーを押します。

次の手順で、Windows Update を実行します。

1. 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックします。
2. Internet Explorer が起動し、「セキュリティ警告」が表示されます。
「Microsoft Windows Component Publisher からの内容を常に信頼」の□をクリックし、チェックを付けます。

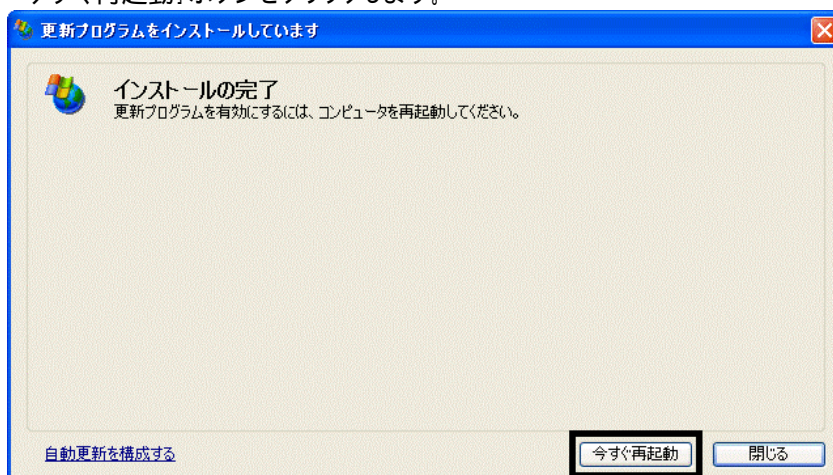
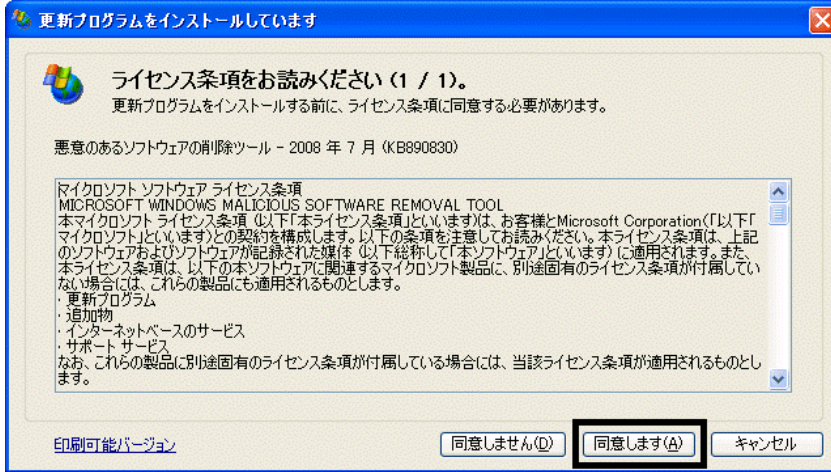
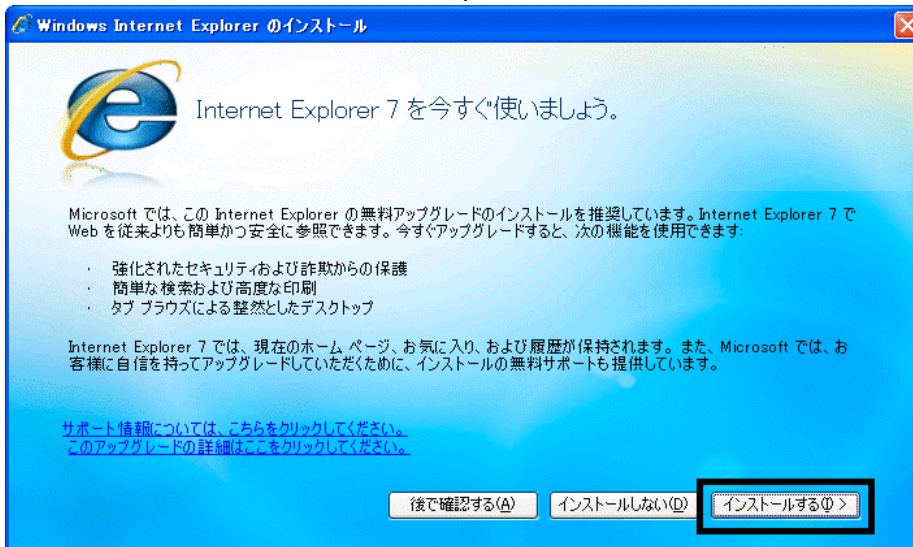
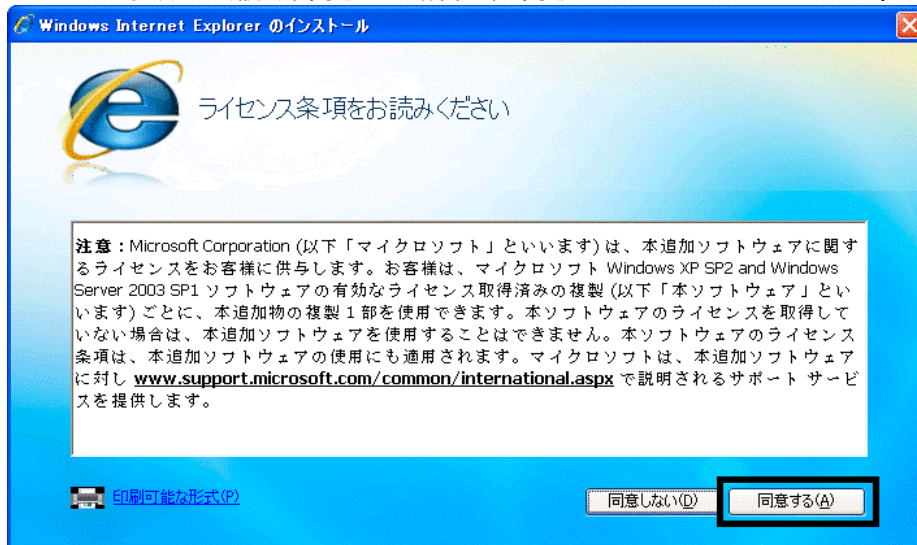
3. 「はい」ボタンをクリックします。
4. 「最新の Windows Update ソフトウェアを入手してください。」と表示されます。
「今すぐインストール」ボタンをクリックします。

5.　しばらく待つと、「ようこそ　Windows Update　へ」と表示されます。
「高速」ボタンをクリックします。

6.　「インターネットへ情報を送信するときに、その情報をほかの人から読み取られる可能性があります。続行しますか？」と表示されます。
「はい」ボタンをクリックします。

7.　「Windows Update」と表示されます。
「今すぐダウンロードしてインストールする」ボタンをクリックします。

8. 「更新プログラムのダウンロードとインストール実行中です。」と表示されます。
   ダウンロードとインストールが、完了するまで待ちます。
9. 「インストールの完了」と表示されます。
   「今すぐ再起動」ボタンをクリックします。

10. パソコンが再起動したら、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックします。
11. Internet Explorer が起動し、「Windows Update」のページが表示されます。
    「高速」ボタンをクリックします。
12. 「更新プログラムの確認とインストール」と表示されます。
    「更新プログラムのインストール」ボタンをクリックします。

13. 「ライセンス条項をお読みください (1/1) 。」と表示されます。
「マイクロソフト製ソフトウェアのための追加使用許諾契約書」をよく読み、同意する場合は、「同意します」ボタンをクリックします。

14. 「更新プログラムのダウンロードとインストールを実行中です。」と表示されます。
ダウンロードが完了するまで待ちます。
15. 「Windows XP Service Pack 2 セットアップウィザードの開始」と表示されます。
「次へ」ボタンをクリックします。

16. 「システムの更新中」と表示されます。
インストールが完了するまで待ちます。
17. 「インストールの完了」と表示されます。
「今すぐ再起動」ボタンをクリックします。

18. パソコンが再起動し、「コンピュータを保護してください。」と表示されます。
「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」をクリックし、「→」ボタンをクリックします。

19. 「Windows セキュリティセンター」が表示されます。
「×」ボタンをクリックし、「Windows セキュリティセンター」を閉じます。

20. 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックします。
21. Internet Explorer が起動し、「Windows Update」のページが表示されます。
「高速」ボタンをクリックします。
22. 「更新プログラムの確認とインストール」と表示されます。
「更新プログラムのインストール」ボタンをクリックします。

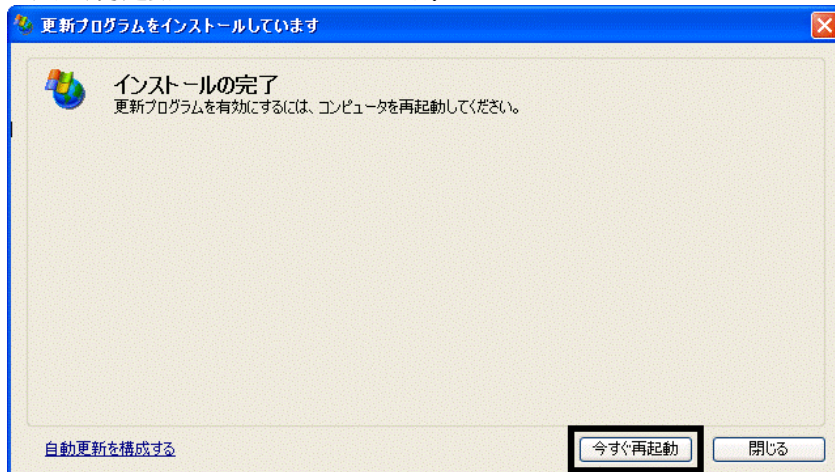
23. 「ライセンス条項をお読みください (1/1) 。」と表示されます。
「マイクロソフトソフトウェア製品追加使用許諾契約書」をよく読み、同意する場合は、「同意します」ボタンをクリックします。

24. 「更新プログラムのダウンロードとインストールを実行中です。」と表示されます。
ダウンロードが完了するまで待ちます。

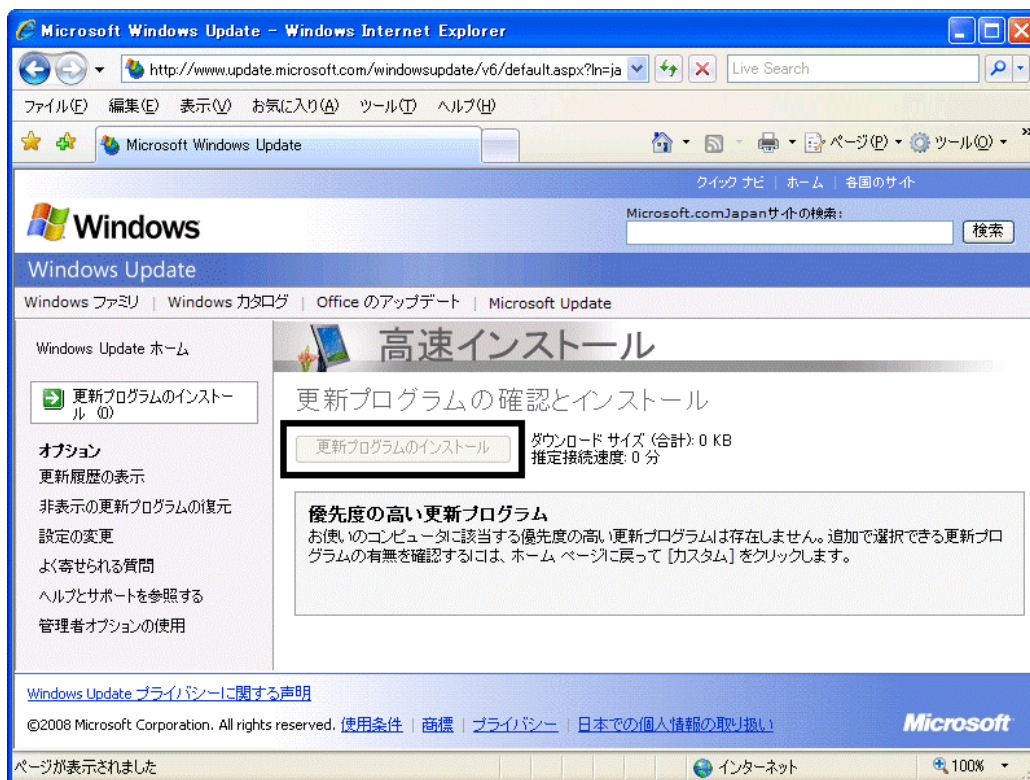
25. 「ソフトウェア更新のインストールウィザード」と表示されます。
「次へ」ボタンをクリックします。

26. 「システムの更新中」と表示されます。
インストールが完了するまで待ちます。

27. 「インストールの完了」と表示されます。
「今すぐ再起動」ボタンをクリックします。

28. パソコンが起動したら、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックします。
29. Internet Explorer が起動し、「Windows Update」のページが表示されます。
「高速」ボタンをクリックします。
30. 「更新プログラムの確認とインストール」と表示されます。
「更新プログラムのインストール」ボタンをクリックします。
31. 「ライセンス条項をお読みください (1/1) 。」と表示されます。
「マイクロソフトソフトウェアライセンス条項」をよく読み、同意する場合は、「同意します」ボタンをクリックします。

32. 「更新プログラムのダウンロードとインストールを実行中です。」と表示されます。
ダウンロードが完了するまで待ちます。
33. 「Internet Explorer 7 を今すぐ使いましょう。」と表示されます。
「インストールする」ボタンをクリックします。

34. 「ライセンス条項をお読みください」と表示されます。
ライセンス条項をよく読み、同意する場合は、「同意する」ボタンをクリックします。

35. 「最新の更新を取得」と表示されます。
「Internet Explorer の最新の更新プログラムと Microsoft Windows 悪意のあるソフトウェアの削除ツールをインストールする (推奨)」にチェックが付いていることを確認します。
チェックが外れている場合は、クリックしチェックを付けます。

36. 「次へ」ボタンをクリックします。
37. 「Windows Internet Explorer 7 をインストール中です...」と表示されます。
インストールが完了するまで待ちます。

38. 「インストールの完了」と表示されます。
「今すぐ再起動」ボタンをクリックします。

39. パソコンが再起動したら、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックします。
40. Internet Explorer が起動し、「Windows Update」が表示されます。
「高速」ボタンをクリックします。
41. 「更新プログラムの確認とインストール」と表示されます。
「更新プログラムのインストール」ボタンがグレーで表示され、クリックできないことを確認します。

≪アドバイス≫
「更新プログラムのインストール」ボタンをクリックできる場合は、「更新プログラムのインストール」ボタンをクリックし、画面に沿ってWindows Updateを実行します。
「更新プログラムのインストール」ボタンがグレーで表示され、クリックできなくなるまでWindows Update を実行してください。

42. 「×」ボタンをクリックし、Internet Explorer を終了します。

パソコンのリカバリ作業はすべて完了しました。

引き続き、パソコンをリカバリ前の状態に戻すには、次の作業が必要です。

- リカバリ前にバックアップを行ったデータの復元
- 周辺機器の再接続
- お使いのアプリケーションのインストール

  ≪アドバイス≫
  リカバリ後に「Office XP Personal （例：WordやExcelなど）」を初めて起動した場合は、「ライセンス認証」の画面が表示されます。
  その場合は、認証の手続きを行うことで、リカバリ前と同様にお使いいただけます。
  認証の手続きはインターネット経由と電話での手続きの二つの方法が用意されています。
  詳細は、「Office XP Personal セットアップ ガイド 2-4 ライセンス認証を行う」をご覧ください。

- Windows XP Service Pack 2 と Windows XP Service Pack 3 を適用した後で、一部のドライバやソフトウェアに影響がでることが確認されています。
  弊社「FMV 活用サイト AzbyClub ホームページ」内の、次のアドレスのページをご覧ください。

  「Microsoft(R) Windows(R) XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載」の適用について
  http://azby.fmworld.net/support/win/xp/sp2/ryuui/index.html

  「Microsoft Windows XP Service Pack 3」の適用について
  http://azby.fmworld.net/support/win/xp/sp3/index.html

本内容は予告なく変更することがございます。

ー以上ー